

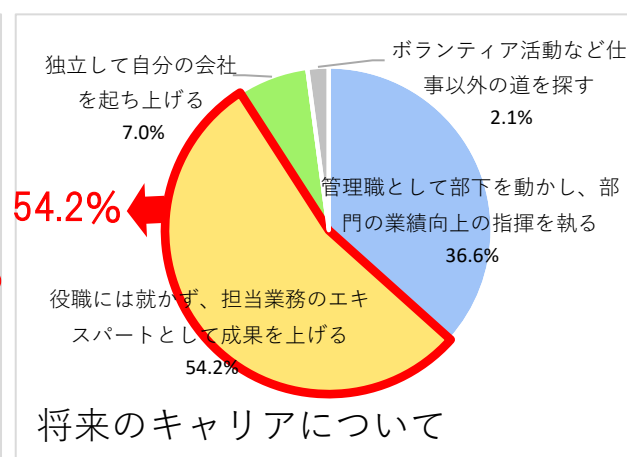
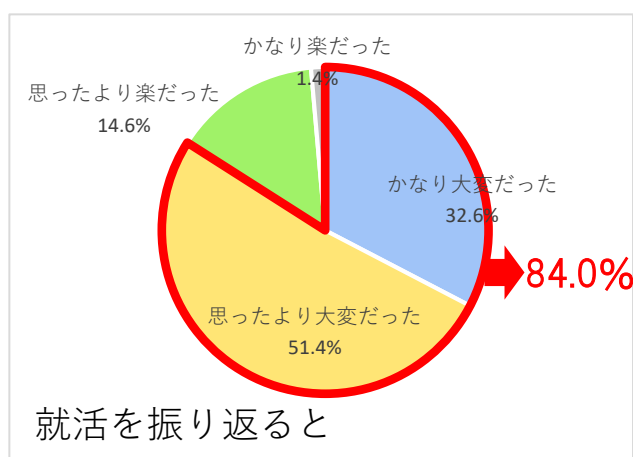


2021年度（第32回）

新入社員の会社生活調査

注目データ

- ・就職活動は“大変だった” …84.0%（氷河期を超えて過去最高）
- ・将来のキャリアは“エキスパート志向” …54.2%（過去最高）



- ・面接はオンラインより“対面”がやりやすい …63.4%
- ・コロナ禍での不安“OJTなどの教育が受けられない” …16.1%

目次

- 総括・・・P. 1
- 注目データ・・・P. 2 ～ P. 5
- 調査概要・・・P. 6
- 調査結果・・・P. 7 ～ P. 12
- データ集・・・P. 13 ～ P. 32

学校法人産業能率大学 総合研究所（東京都世田谷区、以下 本学）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「2021年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

この「新入社員の会社生活調査」は、1990年度から継続して実施しており、今年度で32回目となります。調査は3月29日から4月9日まで、本学が開催した「新入社員セミナー」（対面型）に参加した新入社員を対象に実施し、144人（男性70人・女性74人）から有効回答を得ました。

今年度は昨年度に続き、新型コロナウイルス感染防止のために調査対象である対面型セミナーへの参加が自粛されたことから、回答者は一昨年（429人）から大幅に減少しています。

総 括

いまだに収束の兆しが見えない新型コロナウイルスによる影響が就職活動にも影を落とした様子がうかがえます。

今年度の新入社員に就職活動状況について尋ねたところ、「かなり大変だった」と「思ったより大変だった」を合わせると84%が“大変だった”と回答し、これまで最高だった就職氷河期の1995年度（77%）を超えて、過去最高となりました。（問1）

この背景には、「説明会などの中止や延期」（55%）や「他の学生の動向が不明」（51%）といったコロナ禍の影響が見受けられます。（問2）

また、多くの企業でオンライン面接が実施されましたが、オンラインと対面で、どちらがやりやすいかを訊くと「対面」（63%）が「オンライン」（18%）を大きく上回っています。（問3）

さらにコロナ禍が続くことで、入社後に最も不安や不満を感じることを訊くと、「感染リスクから通勤電車が怖い」（38%）が一番多く挙げられました。続いて「OJTなどの教育が受けられず仕事を覚えるのに時間がかかる」（16%）となっています。（問8）

新型コロナウイルスの感染予防対策として推奨されているテレワークや時差通勤については、新入社員も高い関心を寄せています。

会社にテレワークや時差出勤の制度があった場合に利用したいかを尋ねたところ、テレワークについて「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」を合わせて78%が“利用したい”と回答しました。その理由として「通勤電車の密を避けられるから」が54%で一番多くなっています。また、時差出勤についても両回答を合わせて84%が利用したいとしています。（問9・12）

副業については73%が“利用したい”と回答。その理由として「将来のための貯蓄」が64%となり、2位の「趣味」、「生活費」（同率31%）を大きく引き離しています。（問9・10）

将来のキャリアをどう考えているかは“（役職に就かない）エキスパート志向”が過去最高の54%で“管理職志向”（37%）を大きく上回りました。また、最終的に目標とする役職・地位には「関心がない」とする回答も16年ぶりに51%と半数を超えました。（問14・15）

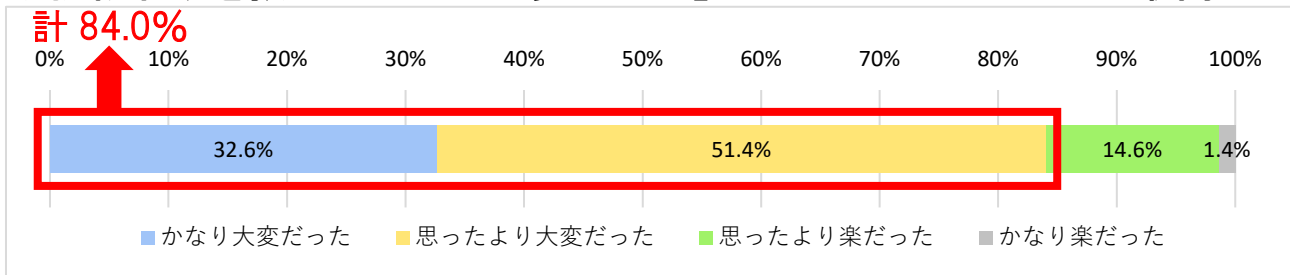
さらに1か月間に許容できる残業時間を尋ねたところ、「1～10時間」が23%、「11～20時間」が36%となり、いずれも過去最高となりました。この結果、「0時間」（2%）を含めた“20時間まで”許容するとの回答が初めて6割を超えました。（問16）

将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているかについて尋ねたところ、「期待していない」（38%）と「どちらかといえば期待していない」（27%）を合わせて65%が“期待していない”と回答しました。前出の副業を利用したいとする最大の理由が「将来の貯蓄のため」であったことから、将来への不安感が垣間見えます。（問19）

注目データ

◆就職活動を振り返ると「大変だった」

⇒ 84%（過去最高）



2020年4月に発出された緊急事態宣言は、今年度の新入社員の就職活動を直撃しました。こうしたことから就職活動を振り返ると、「かなり大変だった」と「思ったより大変だった」を合わせた“大変だった”の合計は84.0%で、これまで最高だった就職氷河期の1995年度を超えて過去最高となりました。

◆就職活動へのコロナ禍の影響

「説明会などの中止・延期」

⇒ 55%

「他の学生の動向が不明」

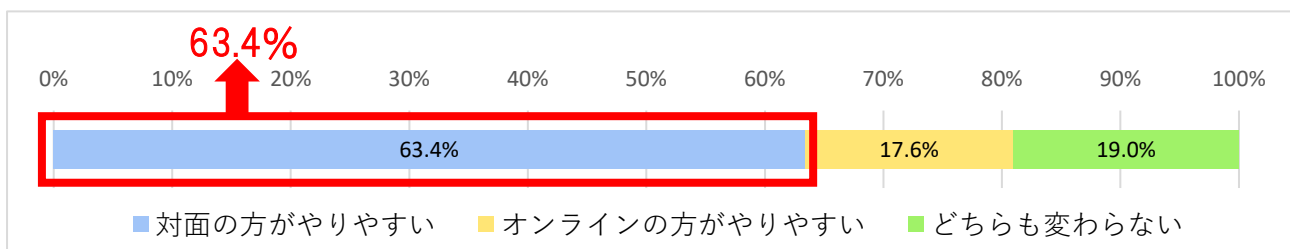
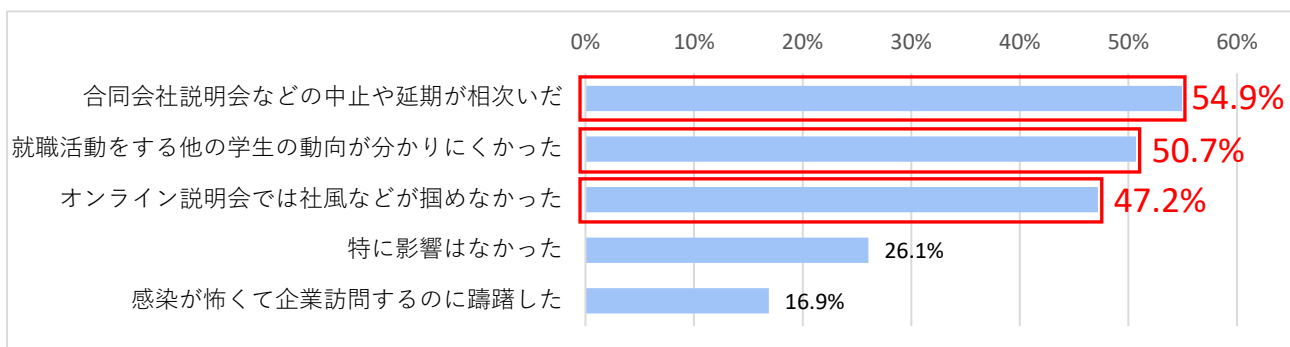
⇒ 51%

「オンライン面接では社風が掴めない」

⇒ 47%

◆面接はオンラインより対面がいい

⇒ 63%

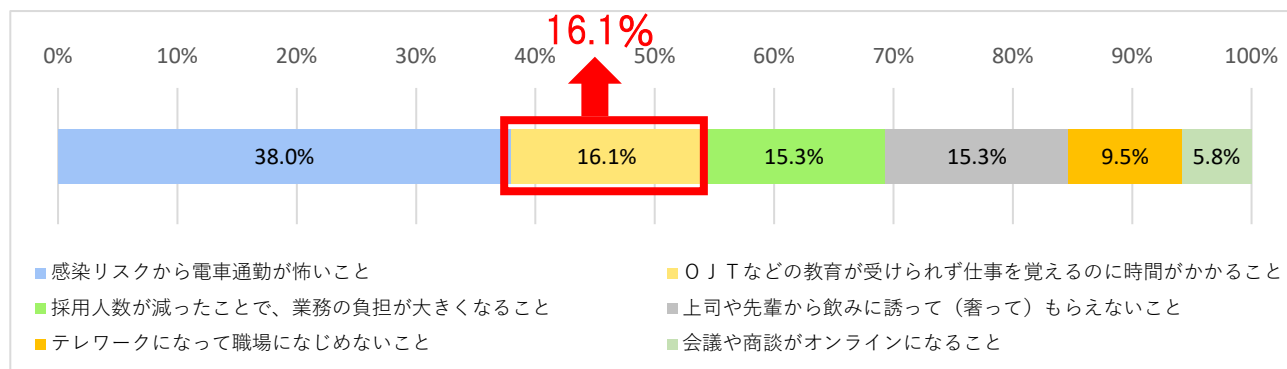


コロナ禍による就職活動への影響について尋ねたところ、「合同会社説明会などの中止や延期が相次いだ」（54.9%）と「就職活動をする他の学生の動向が分かりにくかった」（50.7%）の2つが半数を超えました。次いで「オンライン説明会では社風などが掴めなかった」（47.2%）が続き、企業や他の学生の情報を得ることが困難だったことが分かります。

採用面接をオンラインで実施することについては、63.4%が「対面の方がやりやすい」と回答し、「オンラインの方がやりやすい」（17.6%）を大幅に上回りました。

◆コロナ禍での入社後の不安・不満

「OJTなどの教育が受けられない」⇒16%



コロナ禍の中、入社後に最も不安・不満を感じることは「電車通勤による感染リスク」（38.0%）がトップでしたが、2位には「OJTなどの教育が受けられず仕事を覚えるのに時間がかかる」（16.1%）が入り、社会人としてのスタートダッシュを切る大事な時期での教育不足に不安をのぞかせました。

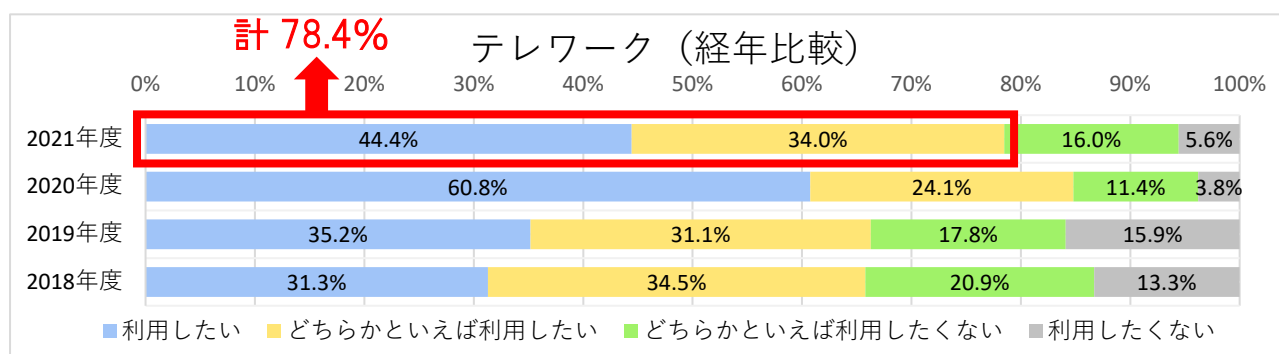
◆テレワークを利用したい

⇒78%

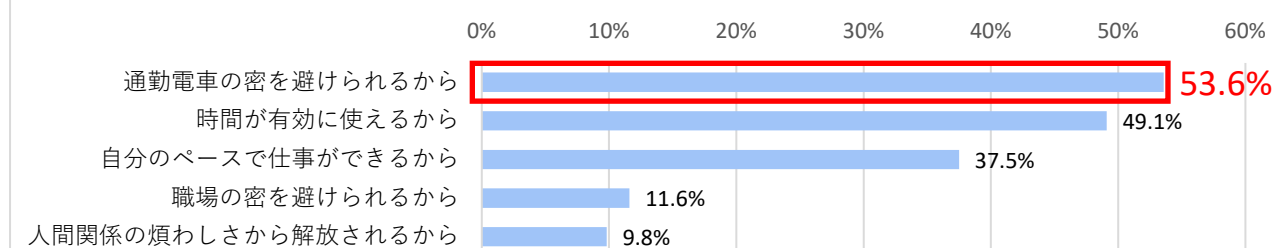
◆利用したい理由

「通勤電車の密が避けられる」

⇒54%



テレワークを利用したい理由ベスト5

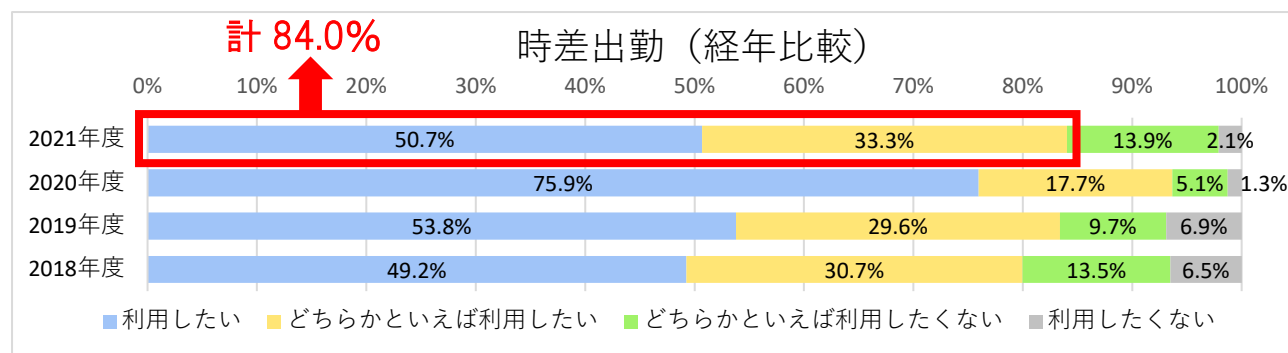


働き方改革として注目され、コロナ禍によって導入が広がるテレワークについては、「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」の合計回答は78.4%で、前年度からは6.5ポイント減ったものの、引き続き関心の高さをうかがえます。

テレワークを利用したい理由では、「通勤電車の密が避けられるから」（53.6%）がトップで、2位が「時間が有効に使えるから」（49.1%）でした。

◆時差出勤を利用したい

⇒ 84%

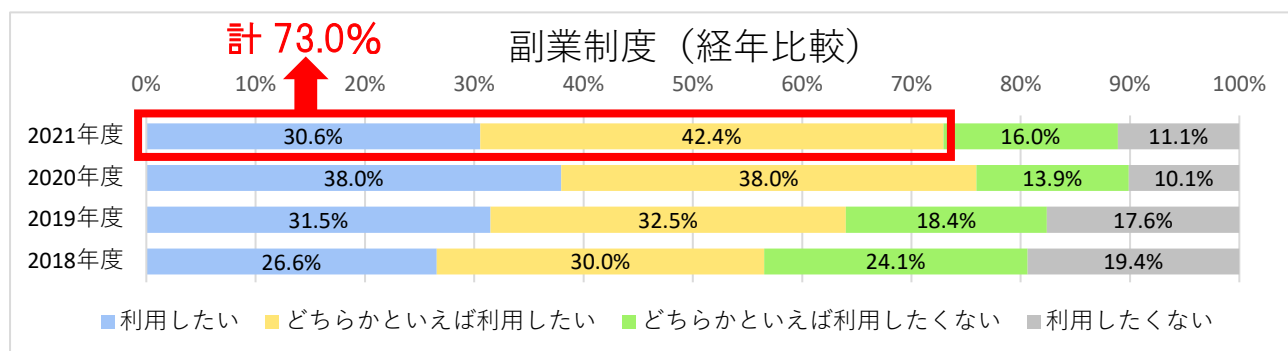


時差出勤についても「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」を合計した84.0%が利用を希望しています。テレワークと同様、新型コロナウイルス感染拡大の防止策としても期待される時差出勤への要望は高いものがあります。

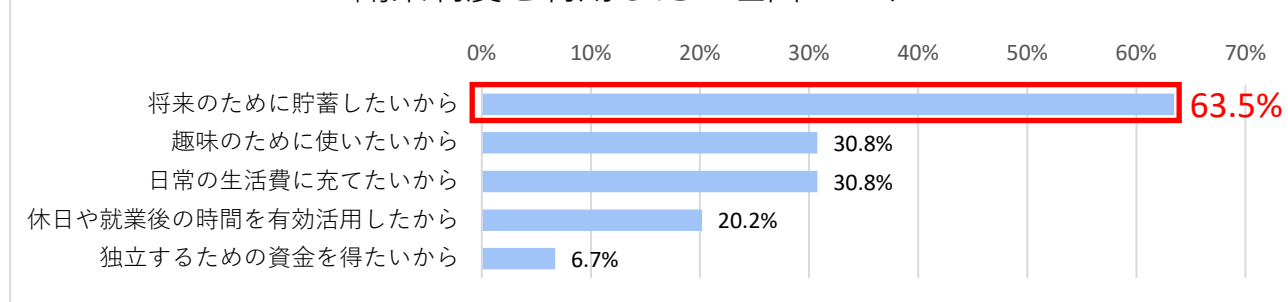
◆副業制度を利用したい

⇒ 73%

◆利用したい理由 「将来のために貯蓄したい」 ⇒ 64%



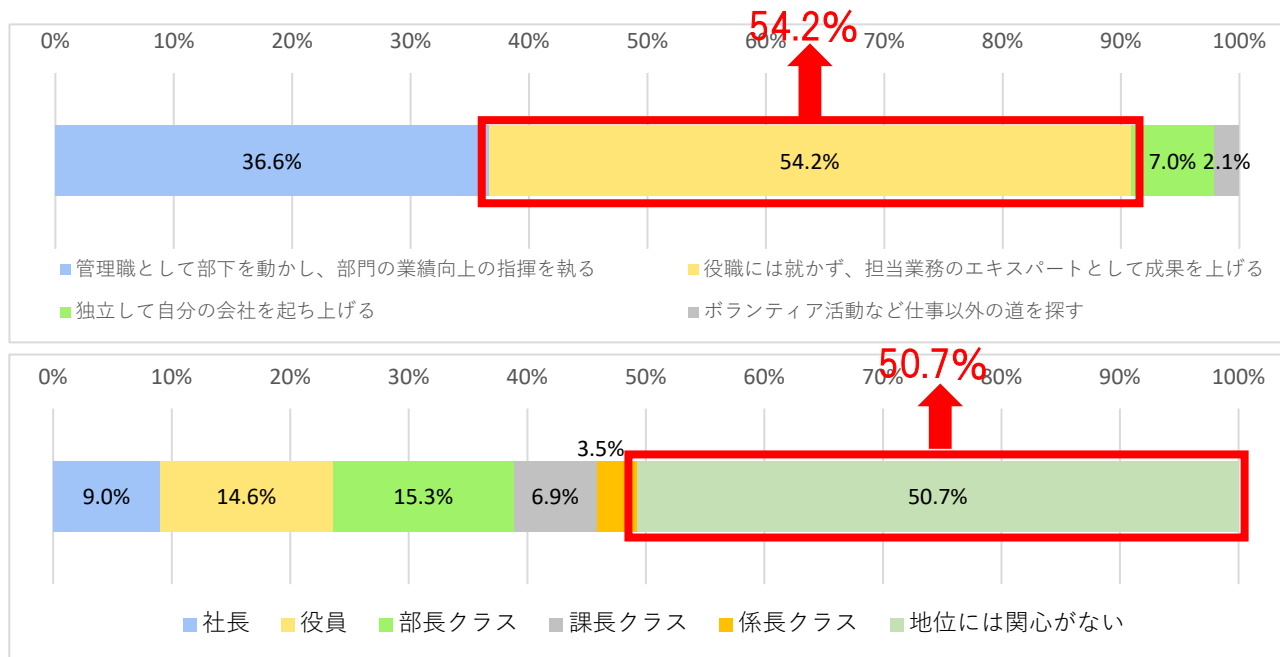
副業制度を利用したい理由ベスト5



昨今注目を集める副業に関しては、「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」を合計した“利用したい”という回答は73.0%となり、4人に3人は、副業制度を利用したいとしています。

副業制度を利用したい理由では、「将来のために貯蓄したいから」（63.5%）が2位以下を大きく引き離してトップとなりました。

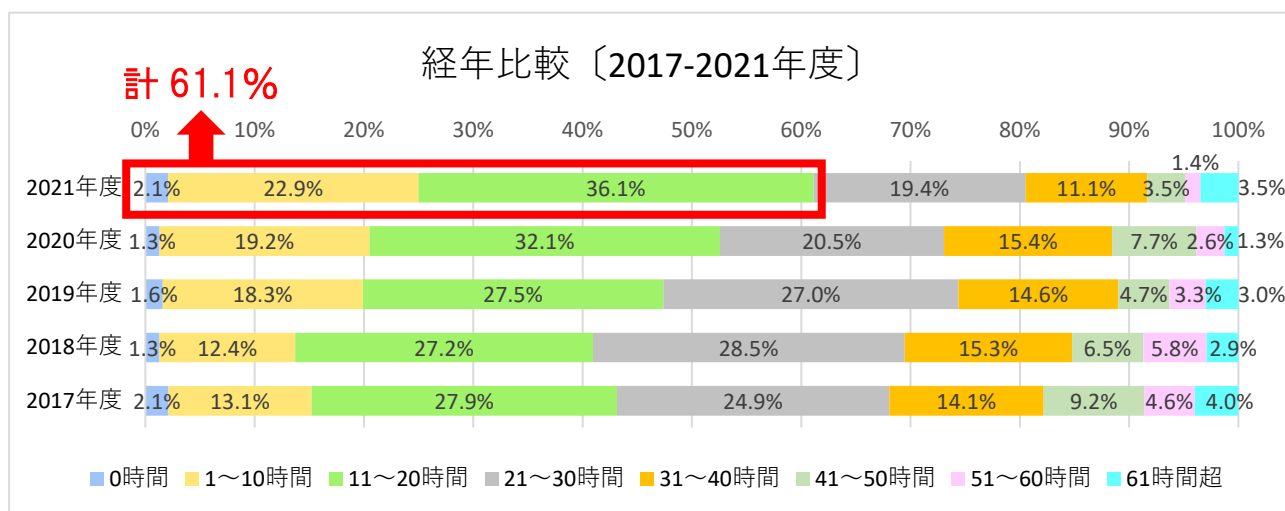
- ◆将来のキャリアは“エキスパート志向”⇒54% 過去最高
- ◆目標とする役職・地位は“関心がない”⇒51% 16年ぶりに半数超



将来のキャリアについて訊いたところ、「役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる」が前年度から17ポイント増えて54.2%となり、「管理職として部下を動かし、部門の業績向上の指揮を執る」（36.6%）を大きく上回って過去最高となりました。

また、最終的に目標とする役職・地位についても、「地位には関心がない」が2005年度（51.3%）以来16年ぶりに半数を超えた50.7%となりました。

- ◆1か月の「残業時間」は“20時間”まで ⇒61% 過去最高



1か月間にどの程度の残業時間なら許容できるかを尋ねると、「11～20時間」（36.1%）と「1～10時間」（22.9%）がいずれも過去最高となり、「0時間」（2.1%）を合わせて20時間までの残業なら許容できるとする回答が合計で61.1%と初めて6割を超えました。

調査概要

1. 調査対象 本学開催の新入社員セミナー受講者
2. 調査時期 2021年3月29日～4月9日
3. 調査方法 書面アンケートによる回答肢選択方式
4. 有効回答 144人（男性70人・48.6％／女性74人・51.4％）

5. 所属企業プロフィール

(従業員数)	100人未満	31人	(21.5%)
	100人以上 500人未満	83人	(57.6%)
	500人以上 1,000人未満	6人	(4.2%)
	1,000人以上	22人	(15.3%)
	無回答	2人	(1.4%)
		144人	

(上場区分)	上場企業	60人	(41.7%)
	非上場企業	65人	(45.1%)
	企業以外の法人・団体	18人	(12.5%)
	未回答	1人	(0.7%)
		144人	

(所在地)	北海道	0人	(0.0%)
	東北	1人	(0.7%)
	関東	133人	(92.4%)
	中部	5人	(3.5%)
	近畿	3人	(2.1%)
	中国	0人	(0.0%)
	四国	0人	(0.0%)
	九州	1人	(0.7%)
	その他	1人	(0.7%)
		144人	

※「データ集」における経年比較は、その質問を開始した年度以降のデータをすべて記載しています。

**2021年度 新入社員の会社生活調査
調 査 結 果**

1. 就職

- ・就職活動“大変だった” ⇒ 84%／26年ぶりに過去最高更新
- ・コロナ禍の影響「説明会などの中止・延期」 ⇒ 55%
- ・面接はオンラインより「対面がやりやすい」 ⇒ 63%

1-1. 就職活動を振り返って（単数回答）

2021年度入社の新入社員に就職活動を振り返ってもらったところ（P. 14／問1）、「かなり大変だった」は32.6%、「思ったより大変だった」は51.4%で、合わせて84.0%が“大変だった”と回答し、前年度からも11.9ポイント増加して過去最高となりました。

これまでの最高は就職氷河期だった1995年度の76.8%であり、26年ぶりに過去最高を更新しました。今年度の新入社員の就職環境は想像以上に厳しかった様子がうかがえます。

1-2. 就職活動へのコロナ禍の影響（複数回答）

こうした就職が厳しかった環境下で『新型コロナウイルス感染拡大の影響があったか』（P. 15／問2）については、「合同会社説明会などの中止や延期が相次いだ」が54.9%と最も多く、次いで「就職活動をする他の学生の動向が分かりにくかった」（50.7%）、「オンライン説明会では社風などが掴めなかった」（47.2%）が上位となり、就職活動において情報を得ることに苦労した状況が浮かび上がってきます。

1-3. 採用面接（単数回答）

『オンラインによる面接と対面での面接では、どちらがやりやすいか』（P. 15／問3）では、「対面の方がやりやすい」との回答が63.4%を占め、「オンラインの方がやりやすい」（17.6%）を大きく上回りました。問2の「オンライン説明会では社風などが掴めなかった」と合わせて、就職活動はオンラインよりも対面の方がやりやすいようです。

1-4. 就職活動の満足度（単数回答）

一方、『就職活動の満足度』（P. 16／問4）では、「たいへん満足」が43.3%、「やや満足」が44.7%で、“満足”とする合計回答は88.0%となりました。厳しかった就職活動を潜り抜けてきた結果、満足度は高いようです。

1-5. 就職先選び（複数回答）

『就職先を選ぶ際に重視した点』（P. 17／問5）は、「業種」（51.4%）が最も高く、前年度に続いてトップとなりましたが、前年度よりも10.6ポイント減少しています。一方、前年度5位だった「労働環境が劣悪でないこと」（46.5%）は、前年度よりも13.6ポイント増えて3位となりました。そのほか今年度6位の「所在地」（30.6%）も、前年度より9.1ポイント増えています。

2. キャリア・働き方

- ・働く上で重要なこと「仕事を通じて自分自身が成長すること」⇒62%
- ・働き始めるにあたって不安なこと「上司・先輩とうまくやっていけるか」⇒56%
- ・コロナ禍で最も不安・不満に思うこと「感染リスクで電車通勤が怖い」⇒38%
- 「OJTなどの教育を受けられず仕事を覚えるのに時間がかかる」⇒16%

2-1. 働く上で重要なこと（複数回答）

『働く上で重要だと思うこと』（P. 18／問6）は、「仕事を通じて自分自身が成長すること」（61.8%）が4年連続でトップになりました。2位は「長期間、安心して働けること」（58.3%）、3位は「仕事内容に見合う報酬が得られること」（37.5%）となりました。

前年度と比較すると、最も増えたのは2位の「長期間、安心して働けること」で、17.3ポイントの増加でした。逆に最も減ったのは、6位の「職場のメンバーから認められること」（18.8%）で、10.7ポイントの減少でした。

2-2. 働き始めるにあたって不安なこと（複数回答）

『働き始めるにあたり、不安に思っていること』（P. 19／問7）は、前年度2位だった「上司・先輩とうまくやっていけるか」（55.9%）がトップになりました。2位は、前年度トップだった「自分の能力で仕事をやっていけるか」（51.0%）でした。

前年度から最も増えたのは、3位の「プライベートの時間を確保できるか」（42.0%）で、12.9ポイントの増加で過去最高でした。また、4位の「心身を壊すことはないか」（35.7%）も、前年度から10.4ポイント増加しました。

2-3. コロナ禍での不安や不満（単数回答）

『コロナ禍の影響が続く中、入社後に最も不安や不満を感じることは何か』（P. 20／問8）では、「感染リスクから電車通勤が怖いこと」が38.0%で一番多くなりました。続いて「OJTなどの教育を受けられず仕事を覚えるのに時間がかかること」が16.1%、さらに「採用人数が減ったことで、業務の負担が大きくなること」と「上司や先輩から飲みに誘って（奢って）もらえないこと」が15.3%の同率で並び、「テレワークになって職場になじめないこと」（9.5%）、「会議や商談がオンラインになること」（5.8%）となりました。

電車通勤の感染リスクを除くと、OJTなどの教育を受けられないことがコロナ禍による最大の不安要因となっています。通常であれば、導入教育で基礎を身につけ、OJTなどで実践力を磨くところ、将来のキャリア形成を含めて不安感を抱いているものと思われます。

・各種制度 副業「利用したい」	⇒ 73%
利用したい理由／「将来のために貯蓄したい」	⇒ 64%
テレワーク「利用したい」	⇒ 78%
利用したい理由／「電車通勤の密を避けられる」	⇒ 54%
時差出勤「利用したい」	⇒ 84%

『会社に次の制度があった場合、どの程度利用したいか』（P. 21／問9）として、『A. 副業』、『B. テレワーク』、『C. 時差出勤』の3つについて質問しました。

2－4. 各種制度の利用意向（単数回答）／A. 副業

『A. 副業』は、「利用したい」（30.6%）と「どちらかといえば利用したい」（42.4%）を合わせた73.0%が“利用したい”と答えました。前年度からは3ポイント減りましたが、7割以上が希望しており、依然として高い水準にあります。

この副業について、『“利用したい”理由』（P. 22／問10／複数回答）を訊くと、「将来のために貯蓄したいから」が63.5%で1位となり、続いて「趣味のために使いたいから」と「日常の生活に充てたいから」がいずれも30.8%で並びました。貯蓄派が前年度よりも11.8ポイント増えた一方、趣味派は15.9ポイント減っています。また、前年度4位だった「これまでの経験やキャリアを活かしたいから」は14.8ポイント減らし、1.9%で8項目ある選択肢中、最下位となりました。

また、『副業を利用したくない理由』（P. 22／問11／単数回答）では、「時間的に難しそうだから」（37.5%）が1位、僅差で「本業に専念したいから」（35.0%）が2位となり、前年度と順位が入れ替わりました。「本業に専念したいから」は、前年度から7.1ポイントの減少となっています。

2－4. 各種制度の利用意向（単数回答）／B. テレワーク

『B. テレワーク』については、「利用したい」（44.4%）と「どちらかといえば利用したい」（34.0%）を合わせた78.4%が“利用したい”と答えました。より積極的な「利用したい」とする回答は、前年度から16.4ポイント減りましたが、2019年度以前よりも着実に増えています。

このテレワークについて、『利用したい理由』（P. 23／問12／複数回答）を訊くと、1位は「通勤電車の密を避けられるから」（53.6%）、続いて「時間が有効に使えるから」（49.1%）、「自分のペースで仕事ができるから」（37.5%）がベスト3となりました。

『テレワークをしたくない理由』（P. 23／問13／複数回答）では、「仕事上の質問や確認がしにくいから」が39.4%で1位、「オンラインでのコミュニケーションが苦手・面倒だから」（33.3%）が2位となり、3位は同率の24.2%で「上司や先輩、同僚などと親しく接することができないから」と「一人で仕事することが不安だから」となっています。

2－4. 各種制度の利用意向（単数回答）／C. 時差出勤

『C. 時差出勤』については、「利用したい」（50.7%）と「どちらかといえば利用したい」（33.3%）を合わせた“利用したい”は84.0%となり、時差出勤についても望んでいる様子がうかがえます。

- ・ 将来のキャリア「役職に就かないエキスパート志向」 ⇒ 54%／過去最高
- ・ 目標とする地位「地位には関心がない」 ⇒ 51%
- ・ 1か月に許容できる残業時間「20時間まで」 ⇒ 61%／過去最高

2－5. 将来のキャリア（単数回答）

『将来のキャリアについてどのように考えているか』（P. 24／問14）については、「役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる」が過去最高の54.2%でトップとなりました。

前年度にやや減らしていたエキスパート志向が17ポイント増えた一方、「管理職として部下を動かし、部門の業績向上の指揮を執る」が36.6%と前年度から10.8ポイント減少しました。30%台となったのは2008年度（35.8%）以来で13年ぶりです。

2－6. 目標とする地位（単数回答）

『目標とする役職・地位』（P. 25／問15）については、「社長」が9.0%で過去最低だった前年度から0.1ポイント増にとどまっています。さらに「役員」（14.6%／前年度比－5.7ポイント）、「部長クラス」（15.3%／前年度比－5.0ポイント）も減少しています。

一方、「地位には関心がない」は50.7%で、2005年度（51.3%）以来、16年ぶりに半数を超えました。エキスパート志向の増加と合わせて、昇進に対する意欲の低下がうかがえます。

2－7. 許容できる残業時間（単数回答）

『1か月の残業時間は、何時間程度許容できるか』（P. 26／問16）について、10時間単位で選択してもらいました。その結果、「11～20時間」（36.1%）が最も多く、2位は「1～10時間」（22.9%）でした。いずれも過去最高です。

その結果、「0時間」（2.1%）を加えた「0～20時間」は61.1%と前年度から8.5ポイント増加し、初めて6割を超えました。残業は20時間までという意識が定着しているようです。

3. 待遇・雇用制度

- ・いつまで働きたいか「60歳（定年）」 ⇒ 38%／過去最低
- ・退職後には「趣味の時間を楽しむ」 ⇒ 75%
- ・公的年金に「期待していない」 ⇒ 65%
- ・35歳時点の理想の年収額 ⇒ 559万円／過去最低

3-1. 定年（単数回答）

『いつまで被雇用者（会社勤めなど）として働きたいか』（P. 27／問17）を尋ねたところ、「60歳」と回答した人が38.2%で最も多くなっていますが、前年度から6.1ポイント減少し、過去最低となっています。昔ながらの60歳定年という意識は、徐々に薄れているようです。

3-2. 退職後（複数回答）

『前問の年代で退職した後にやりたいこと』（P. 28／問18）を尋ねたところ、「趣味の時間を楽しむ」が75.0%で際立って多くなり、2位「専業主夫・主婦として家庭を支える」（23.6%）以下を大きく引き離しています。

3-3. 公的年金（単数回答）

『将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているか』（P. 29／問19）を尋ねたところ、「期待していない」が38.2%で一番多く、過去最高となりました。「どちらかといえば期待していない」（27.1%）と合わせた65.3%が“期待していない”としています。

3-4. 人事制度（単数回答）

『年功序列と成果主義のどちらを望むか』（P. 30／問20）を二者択一で尋ねた結果、「成果主義」が57.0%、「年功序列」が43.0%となりました。

また、『終身雇用制度を望むか』（P. 31／問21）では、「望む」が60.3%、「望まない」が39.7%となりました。「望む」は、2014年度の76.3%をピークに減少傾向にあります。

3-5. 理想の年収額（自由回答）

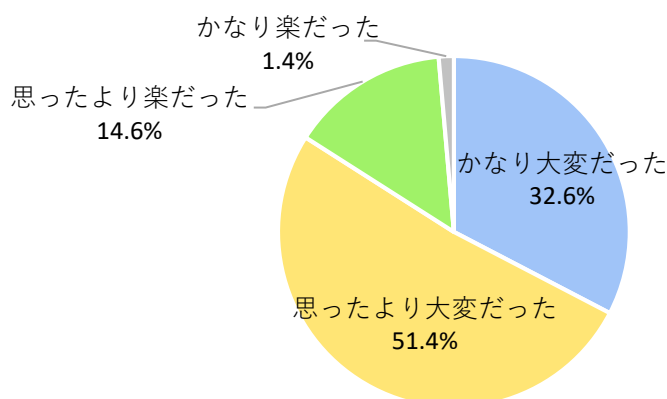
『35歳時点での理想の年収額』（P. 32／問22）について、金額を自由に回答してもらったところ、「500万円～600万円未満」が一番多く32.5%を占めました。

加重平均値を算出したところ、「559万円（5,593,254円）」で、前年度から50万円近く減少し、過去最低となりました。

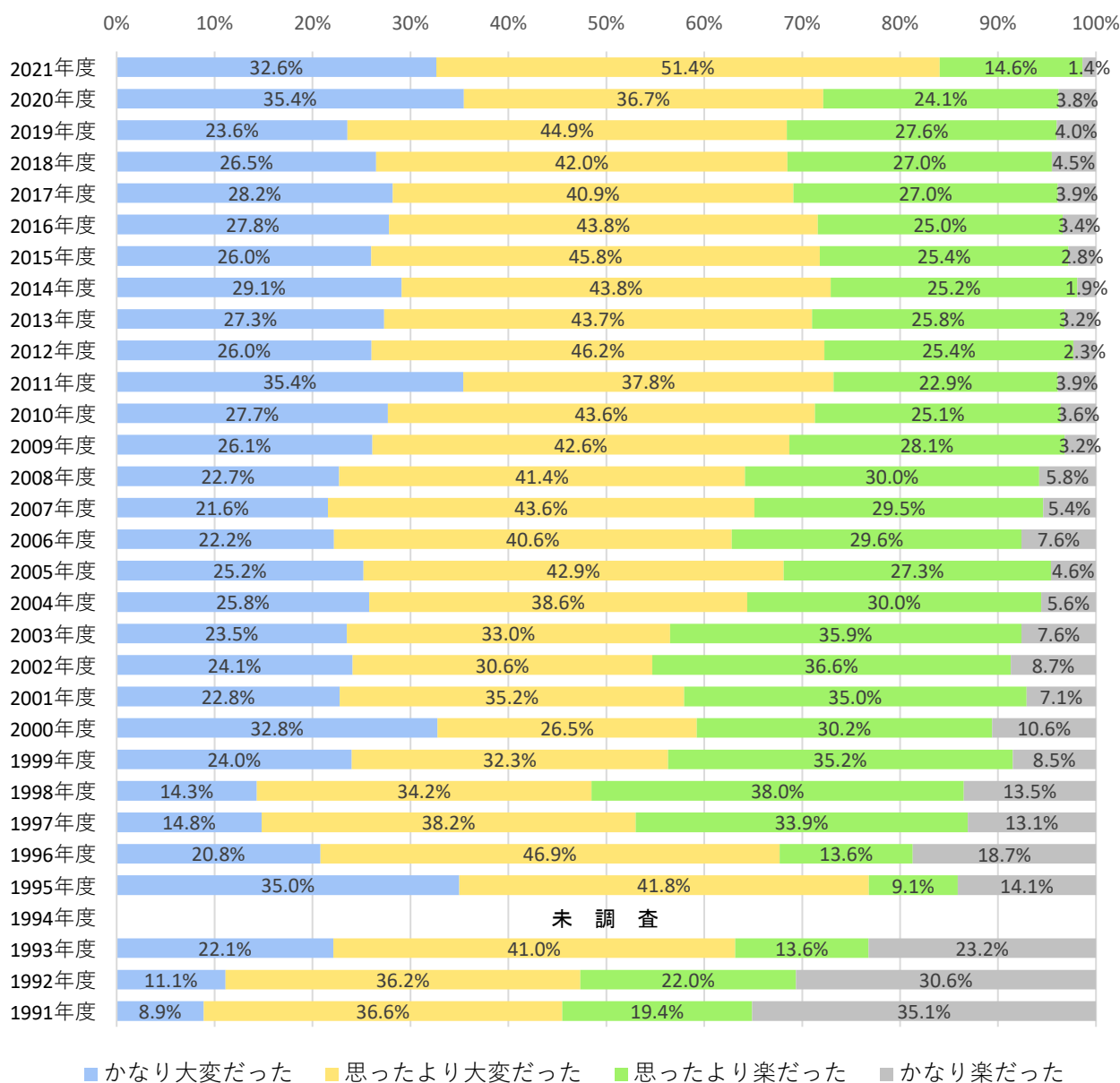
**2021年度 新入社員の会社生活調査
データ集**

問1. 就職活動を振り返って、どのように感じましたか？（1つ選択）

(n=144)

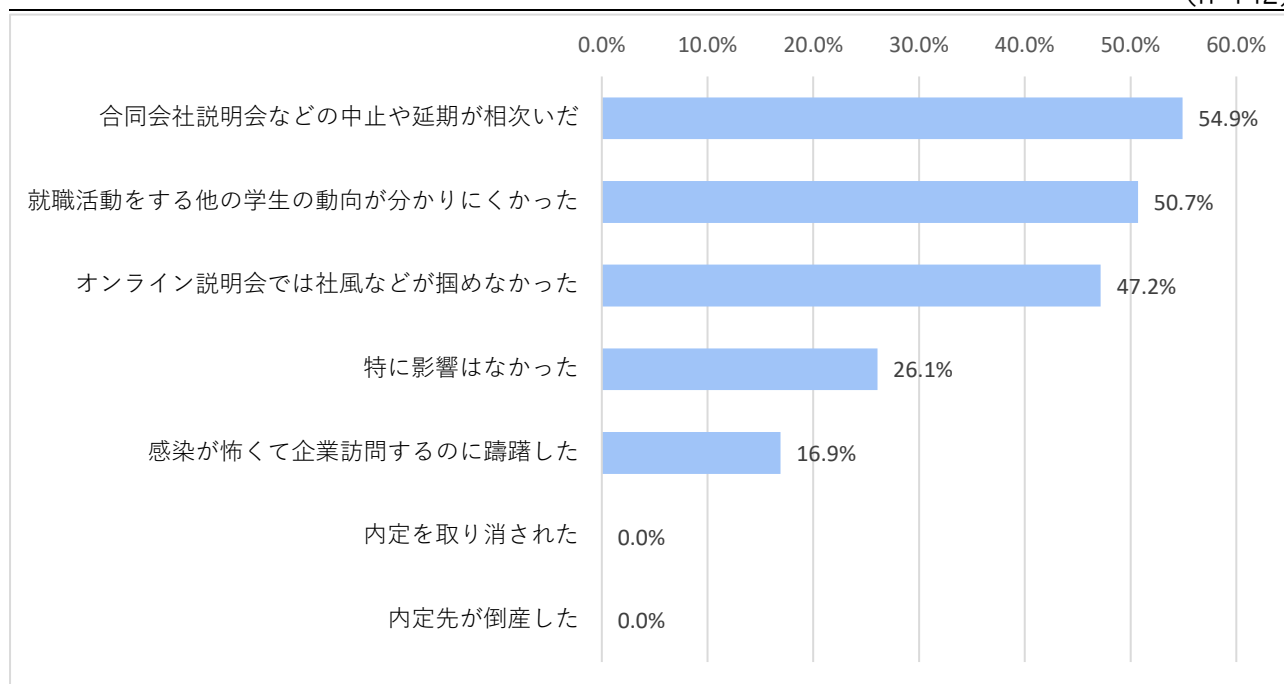


経年比較〔1991-2021年度〕



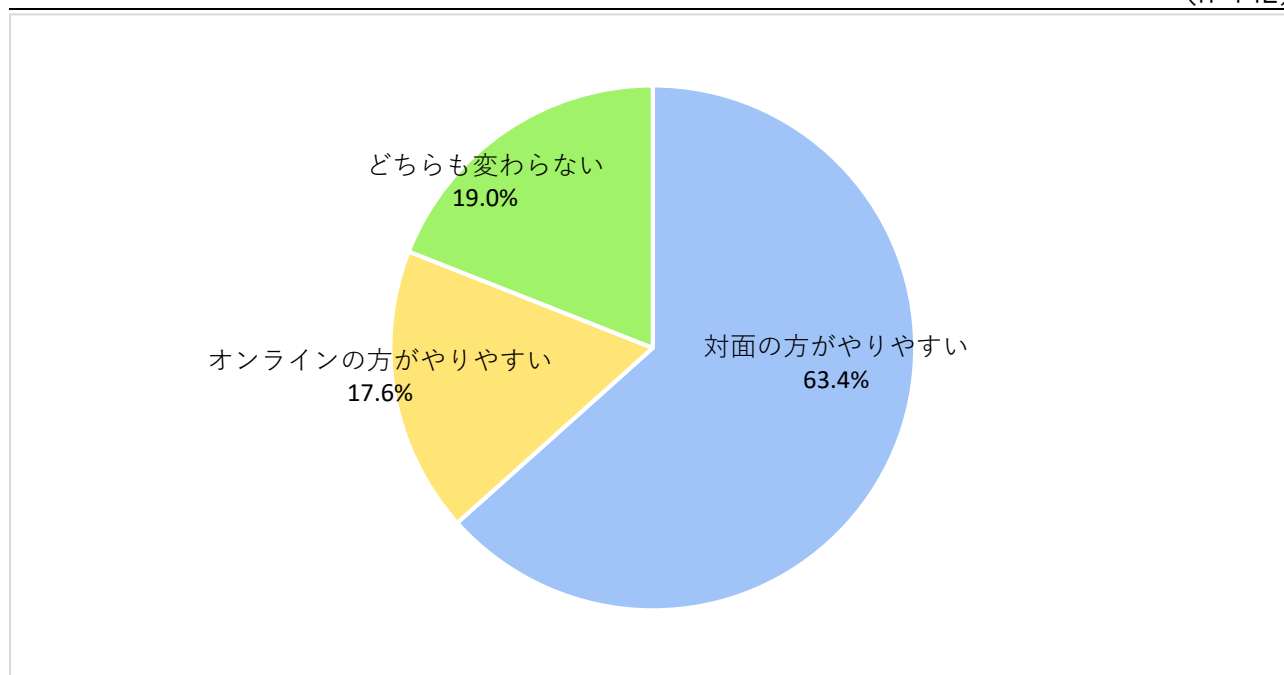
問2. 就職活動において、新型コロナウイルス感染拡大（以下、コロナ禍）の影響はありましたか？（当てはまるものをすべて選択）

(n=142)



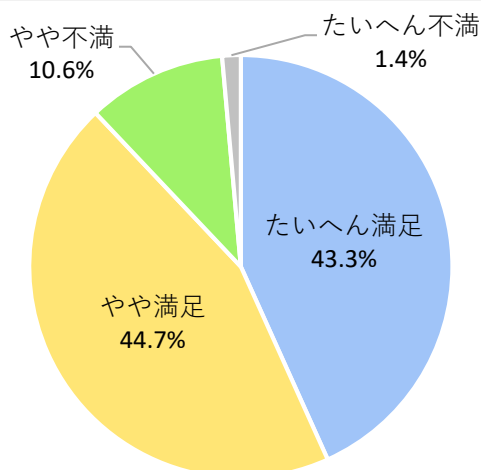
問3. オンラインによる面接と対面での面接では、どちらがやりやすいですか？（1つ選択）

(n=142)

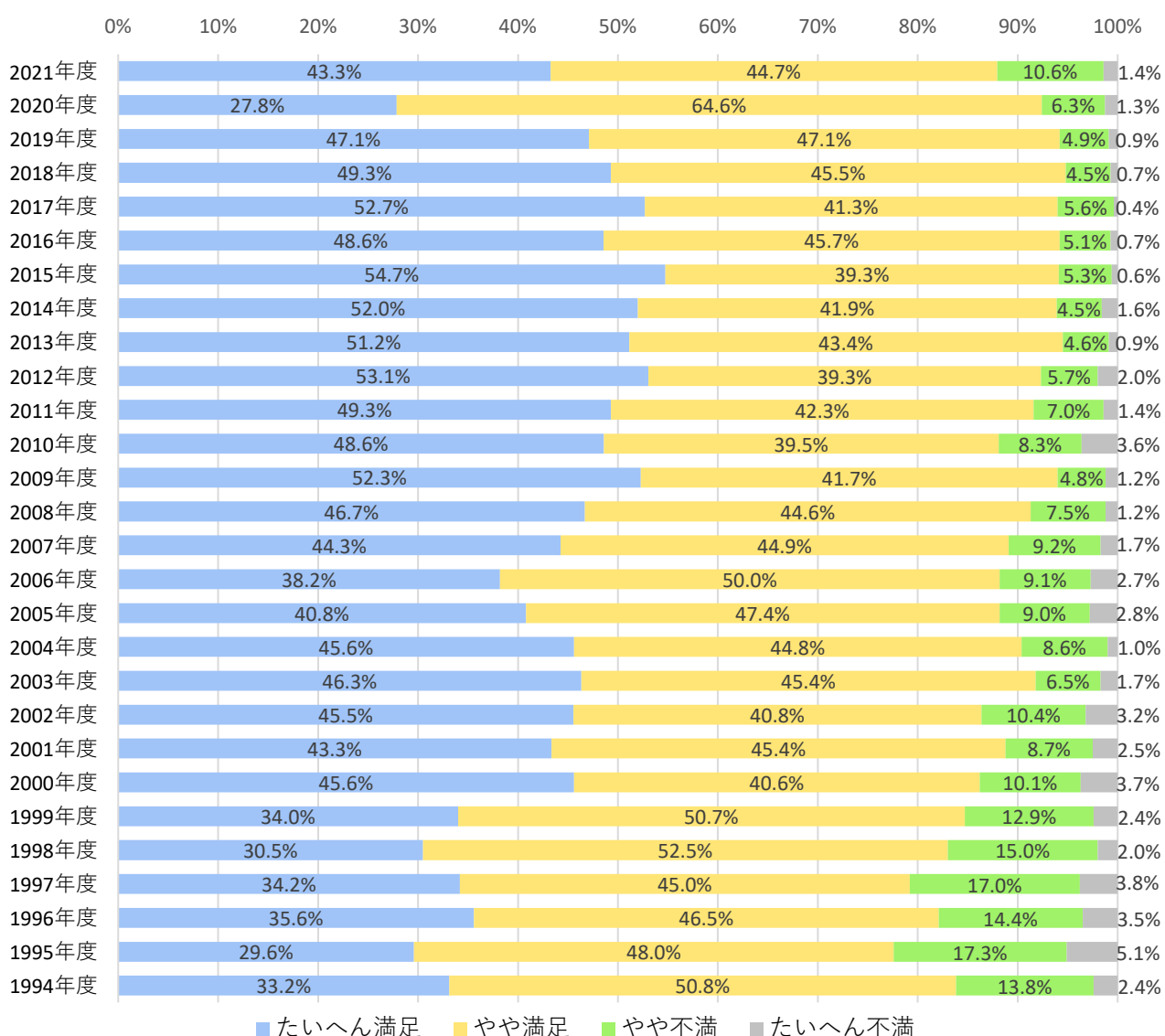


問4. 就職活動の結果に満足していますか？（1つ選択）

(n=141)

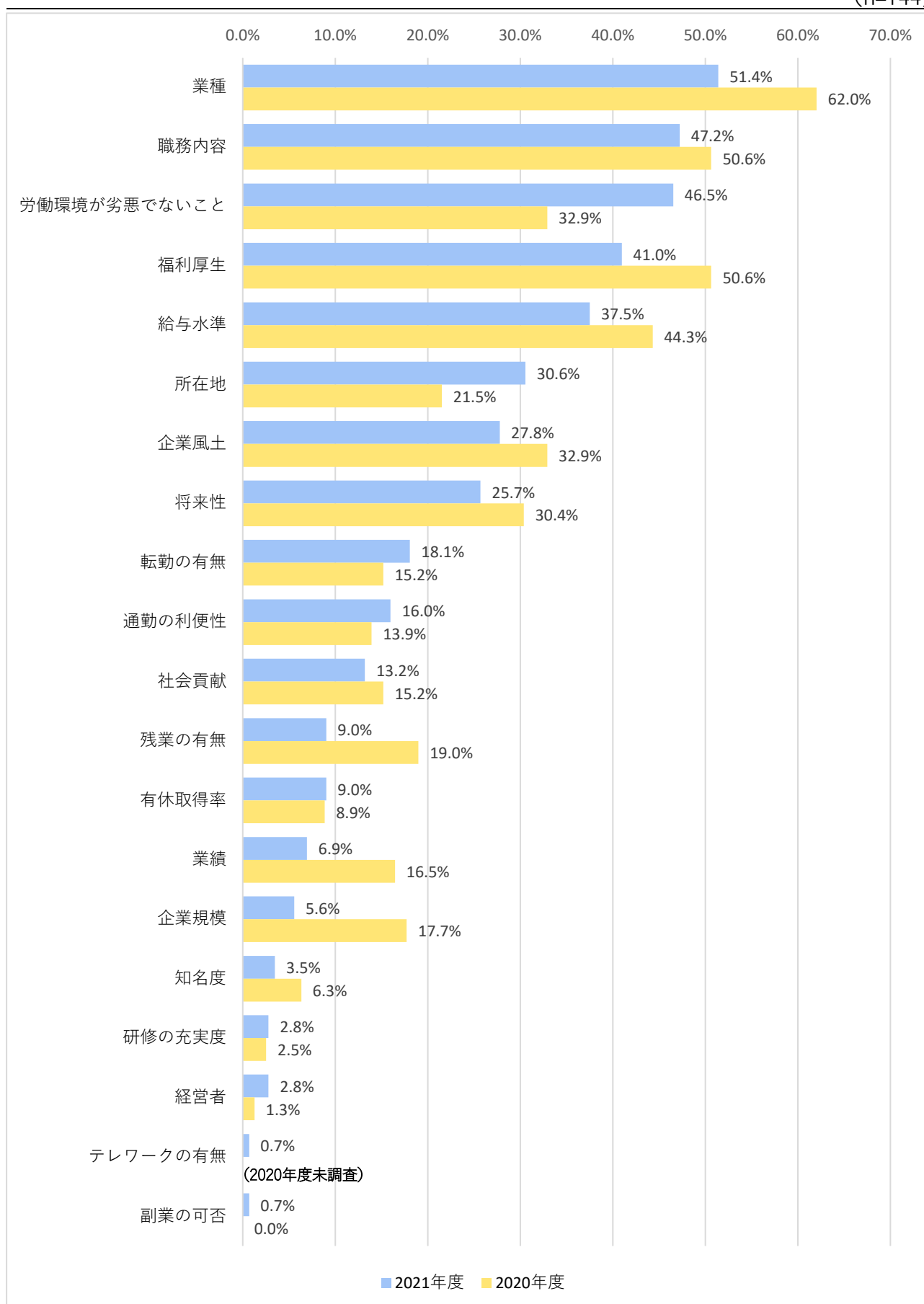


経年比較〔1994-2021年度〕



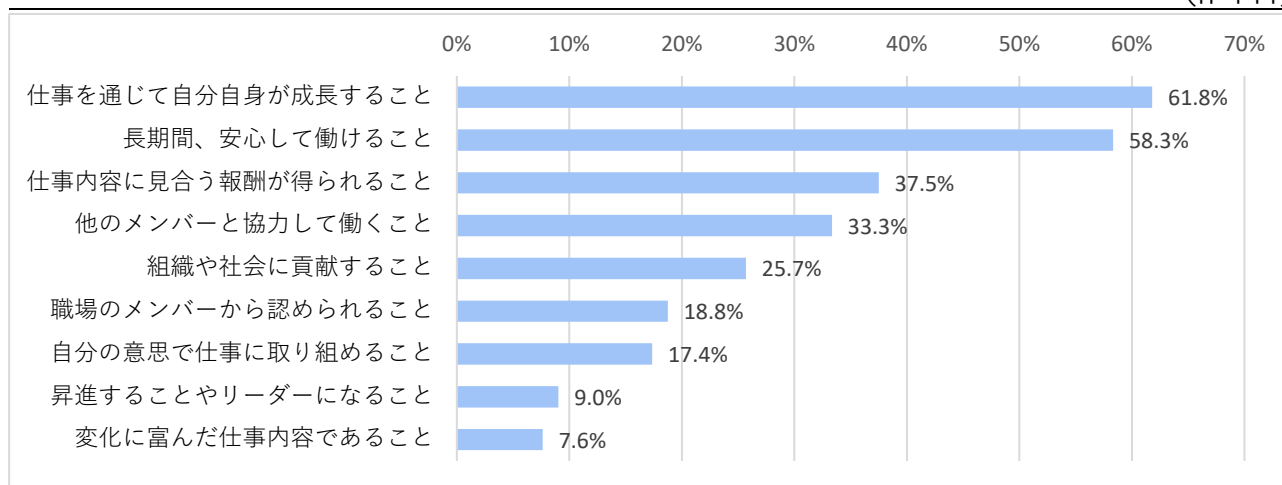
問5. 就職先を選ぶ際に重視した点はなんですか？（5つまで選択可）

(n=144)

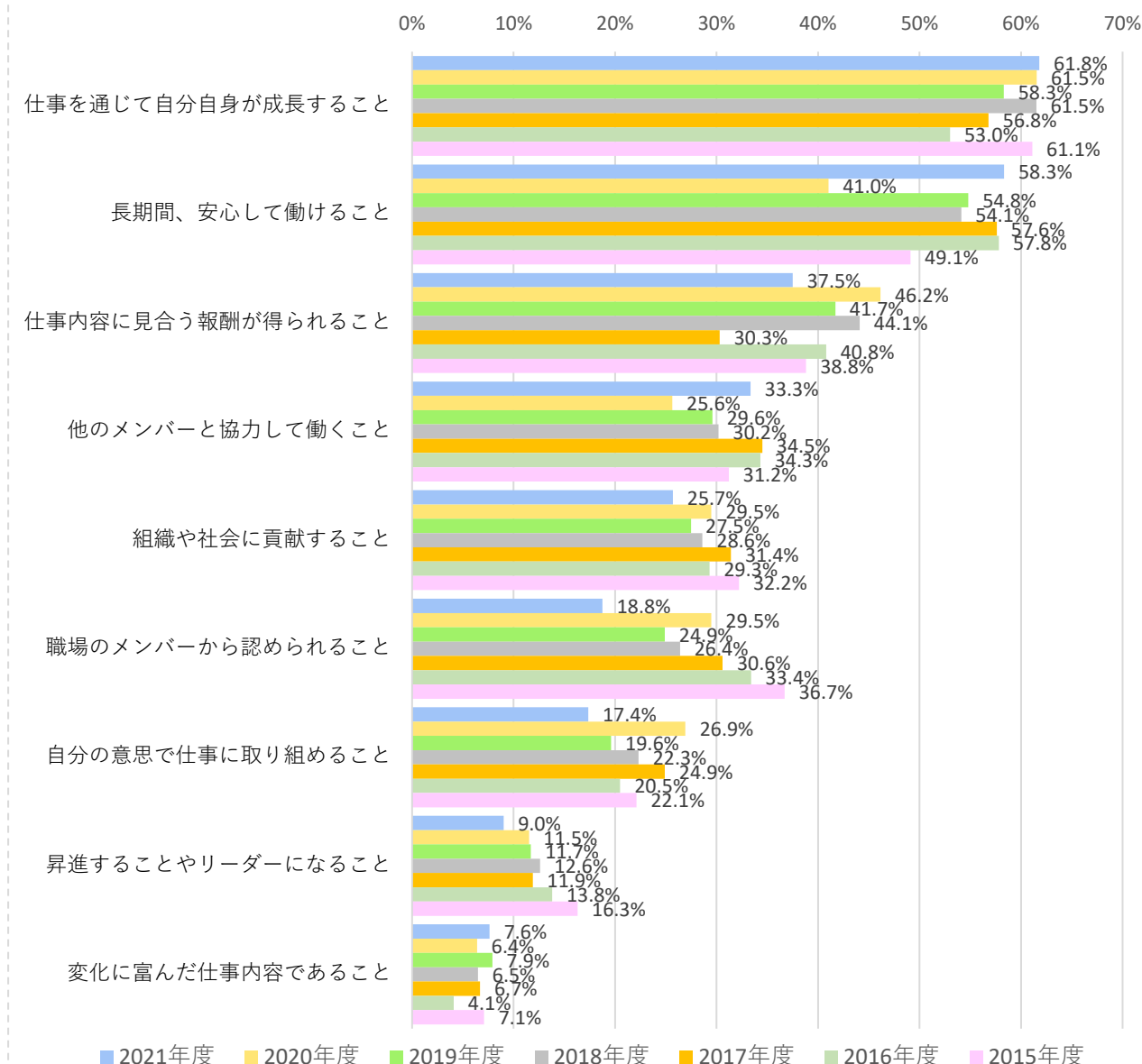


問6. あなたは「働く」上で、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？
（3つまで選択可）

(n=144)

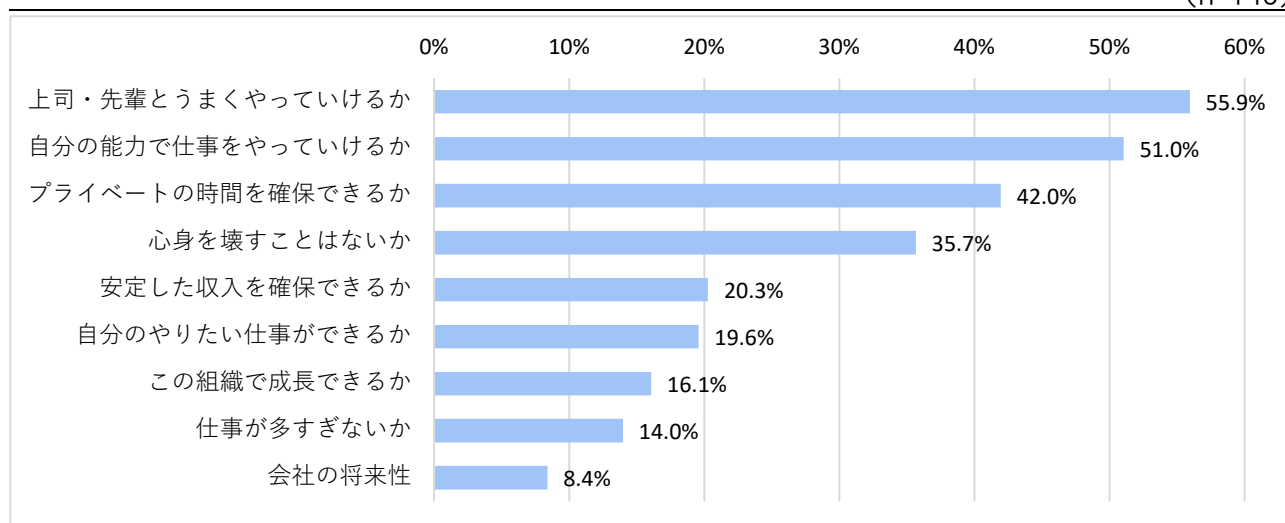


経年比較〔2015-2021年度〕

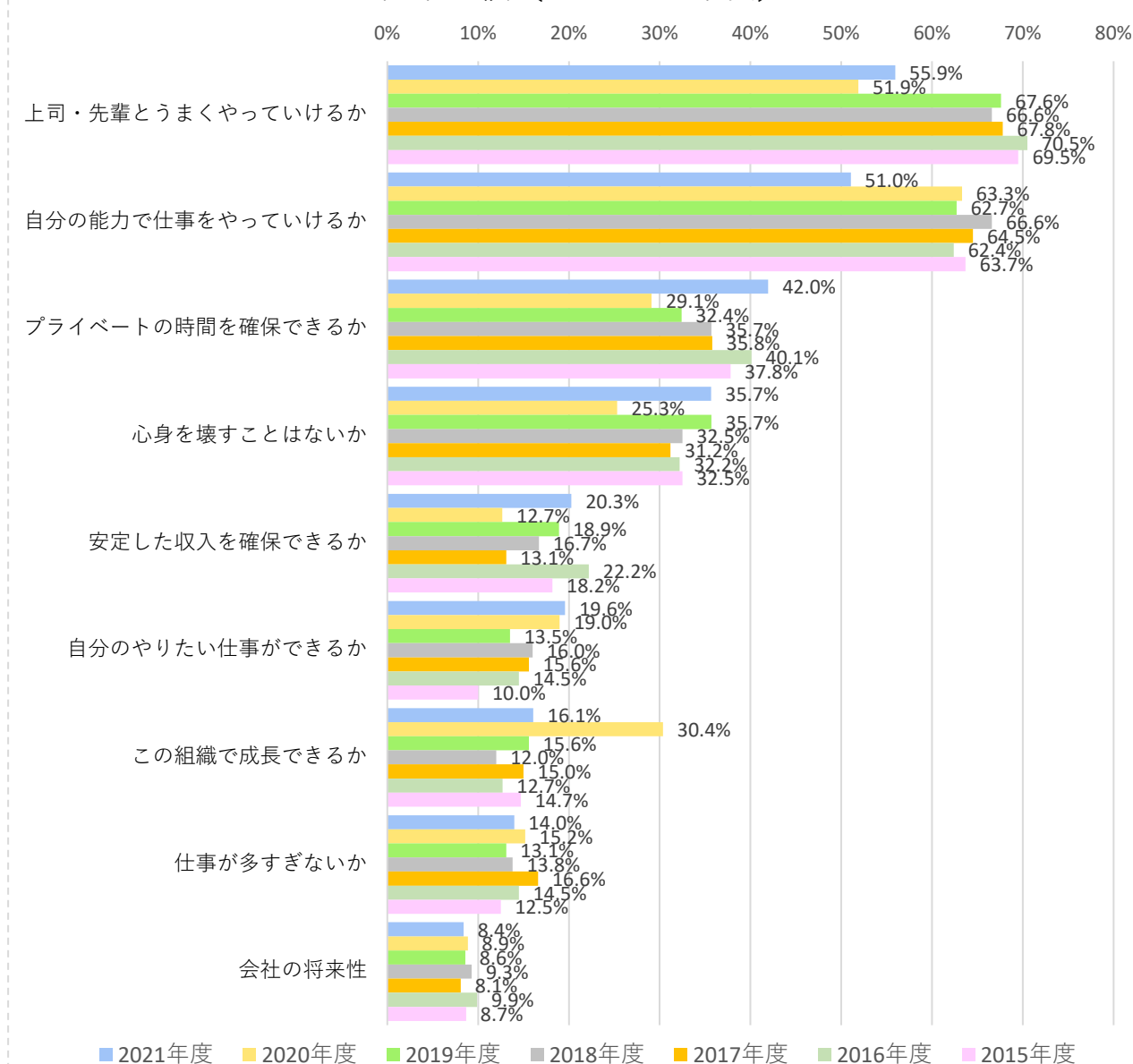


問7. 働き始めるにあたって、不安に思っていることは何ですか？（3つまで選択可）

(n=143)

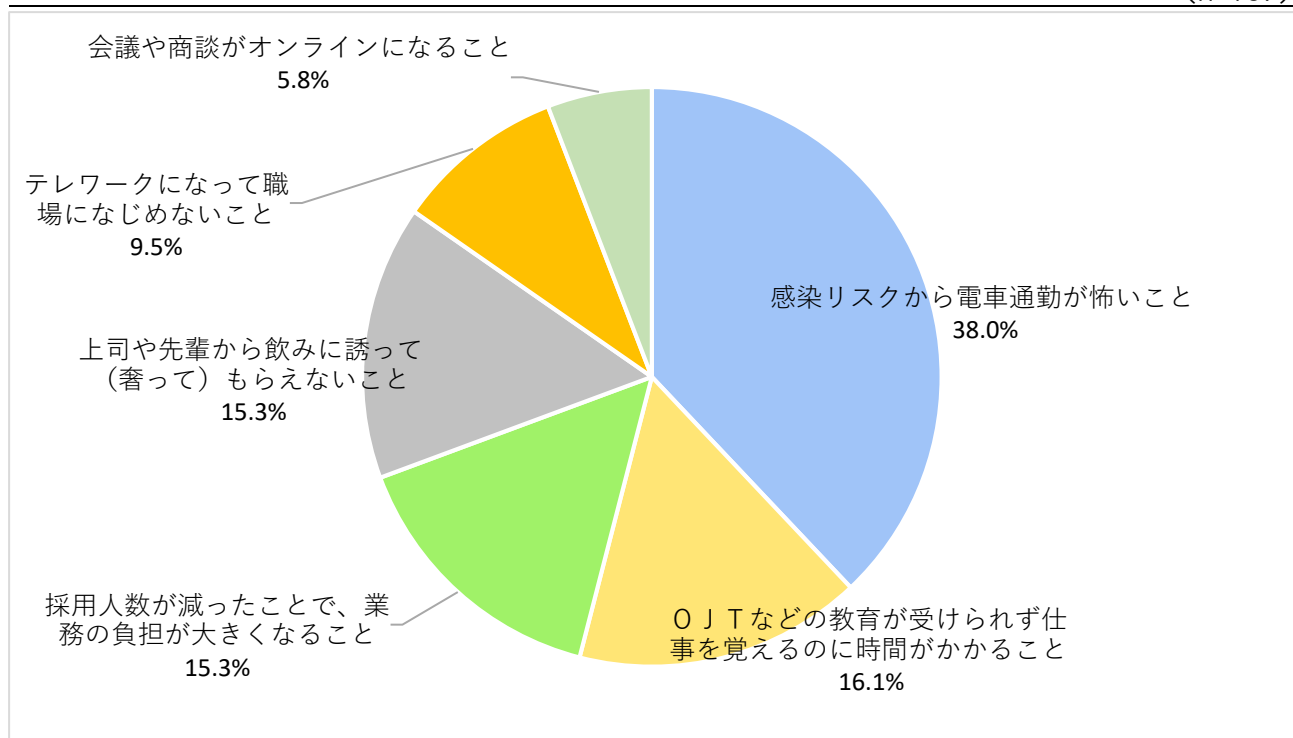


経年比較〔2015-2021年度〕



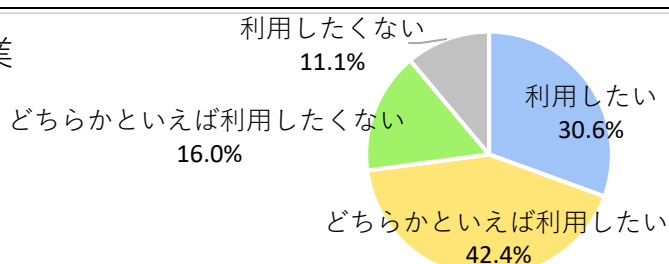
問8. コロナ禍の影響が続く中、入社後に最も不安や不満を感じることは何ですか？
(1つ選択)

(n=137)

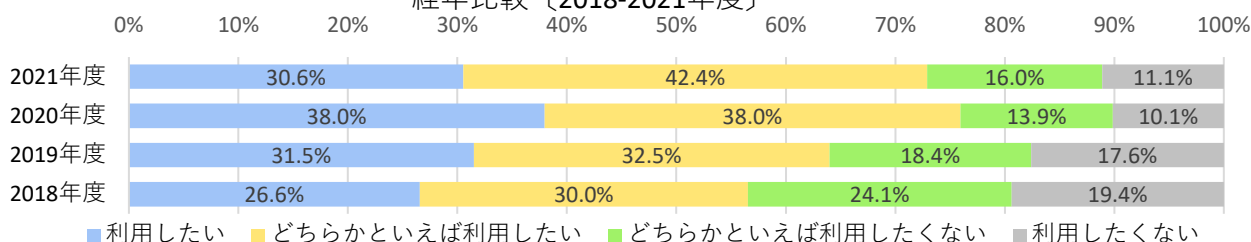


問9. 会社に以下の制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？（各1つ選択）
（A. n=144/B. n=144/C. n=144）

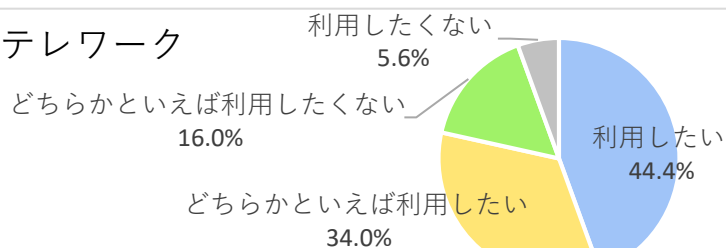
A. 副業



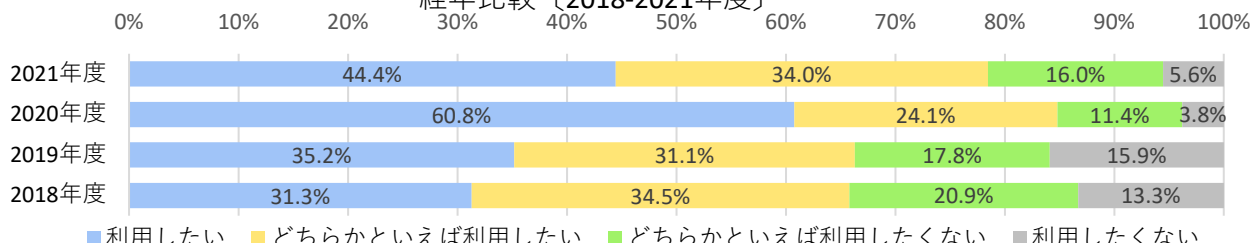
経年比較〔2018-2021年度〕



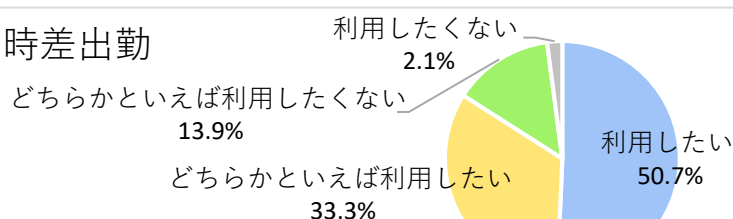
B. テレワーク



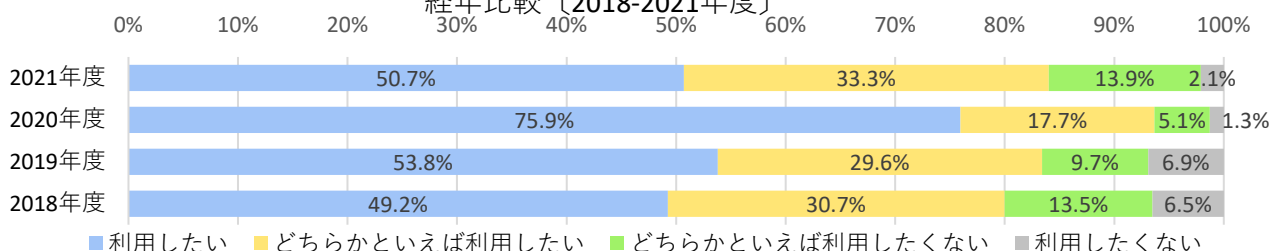
経年比較〔2018-2021年度〕



C. 時差出勤

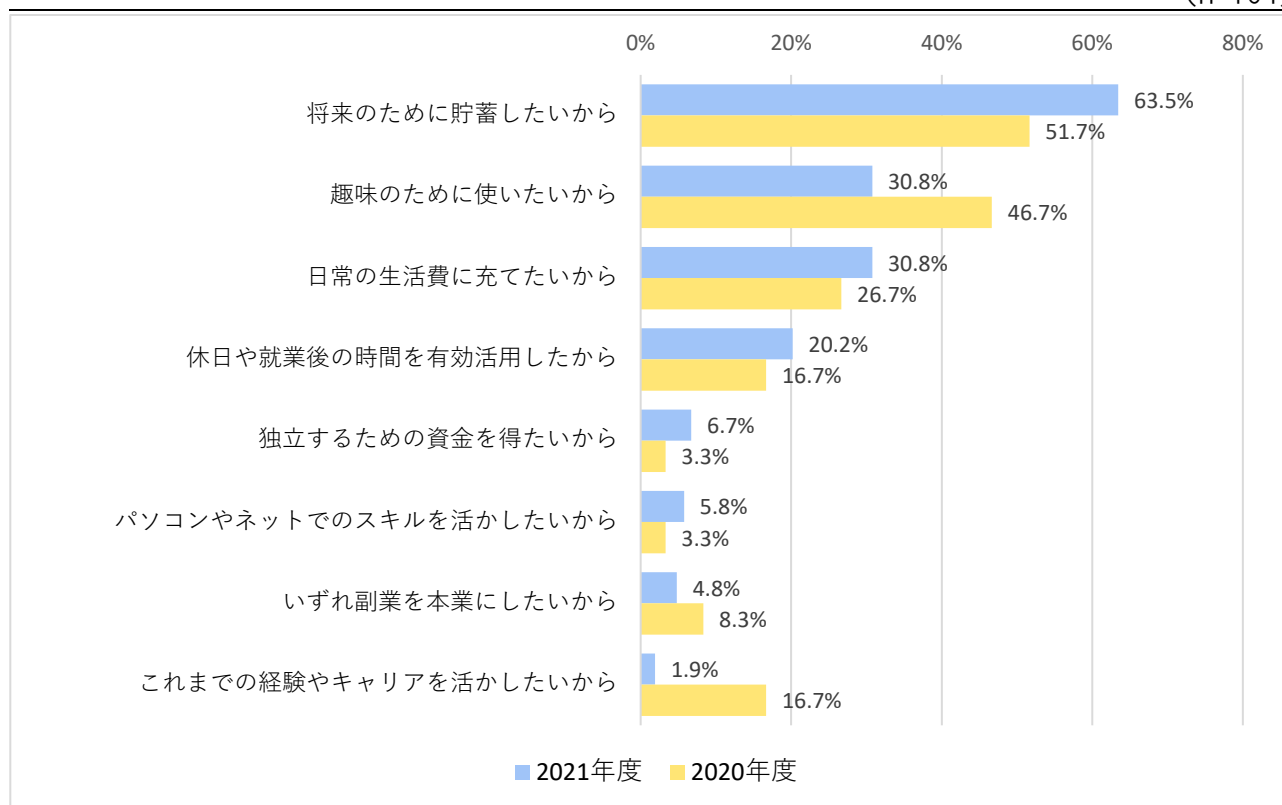


経年比較〔2018-2021年度〕



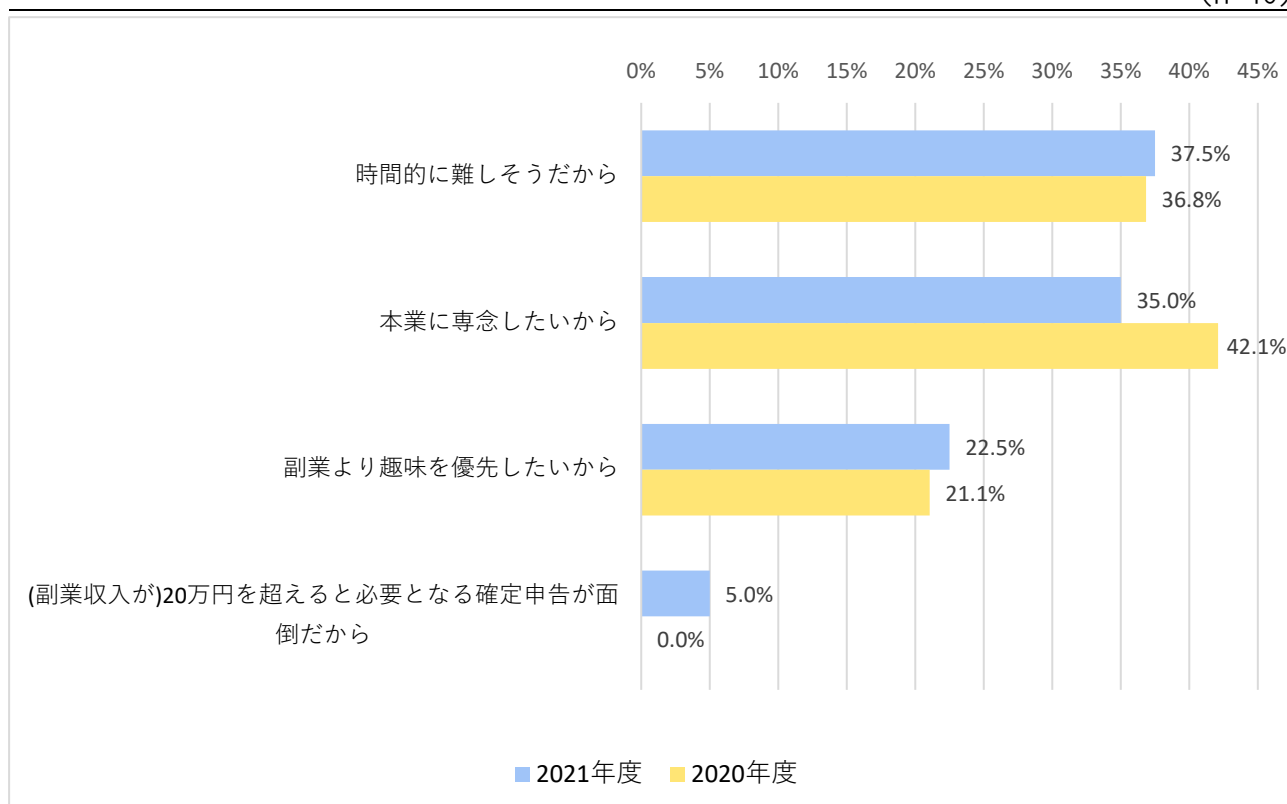
問10. 【問9のA. 副業で1または2を回答した方へ】副業をしたい理由はどれですか？
（2つまで選択可）

(n=104)



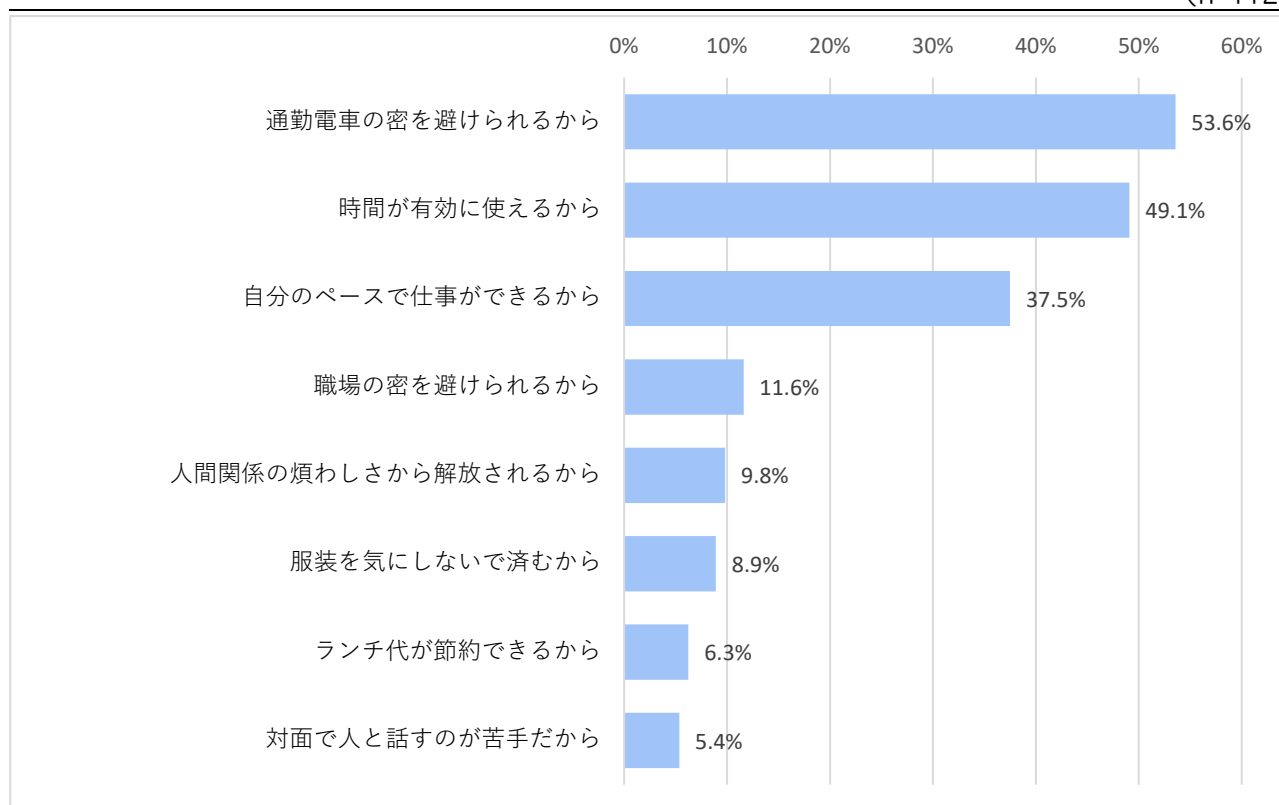
問11. 【問9のA. 副業で3または4を回答した方へ】副業をしたくない理由はどれですか？
（1つ選択）

(n=40)



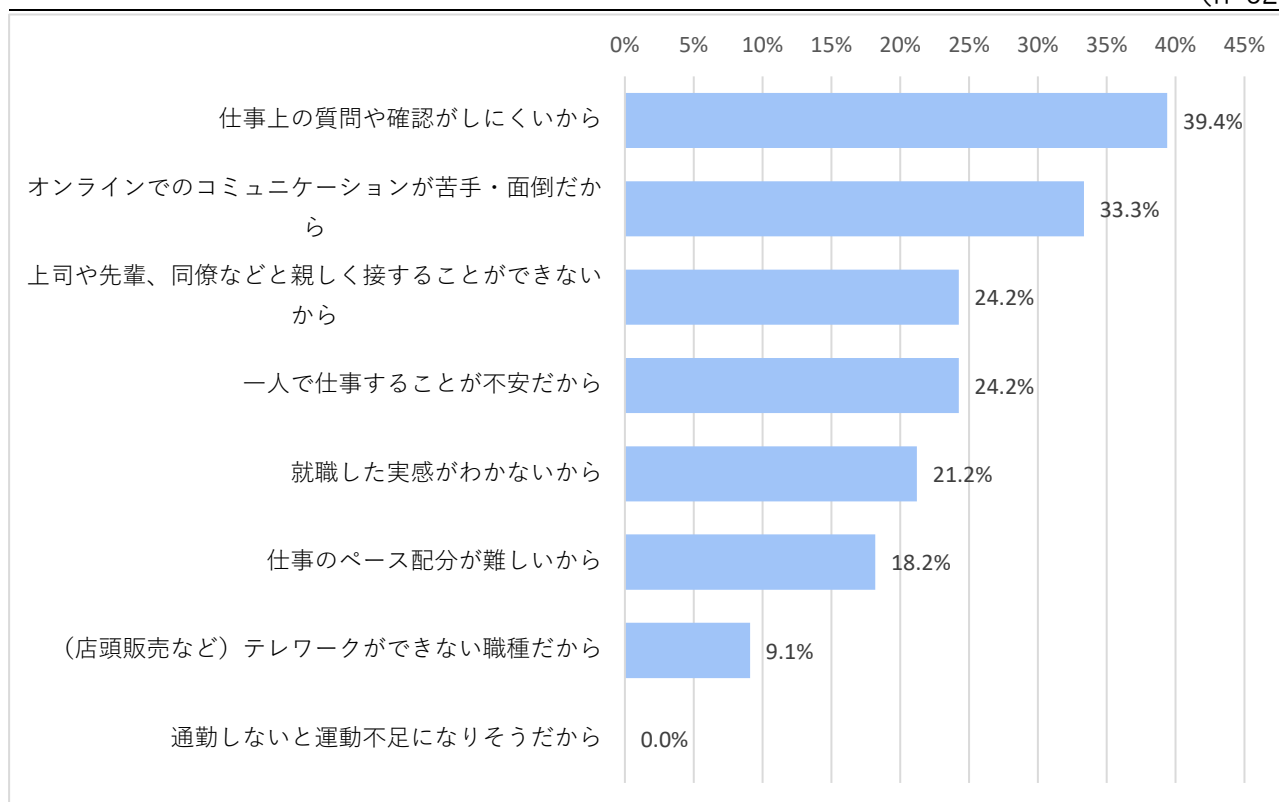
問12. 【問9のB. テレワークで1または2を回答した方へ】テレワークをしたい理由はどれですか？（2つまで選択可）

(n=112)



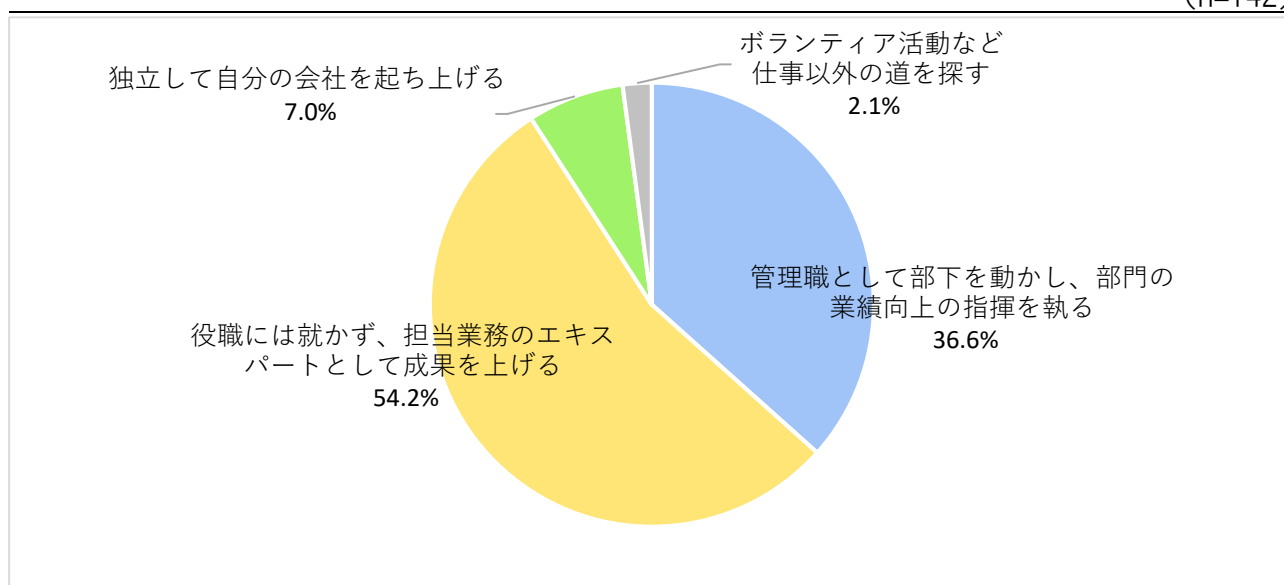
問13. 【問9のB. テレワークで3または4を回答した方へ】テレワークをしたくない理由はどれですか？（2つまで選択可）

(n=32)

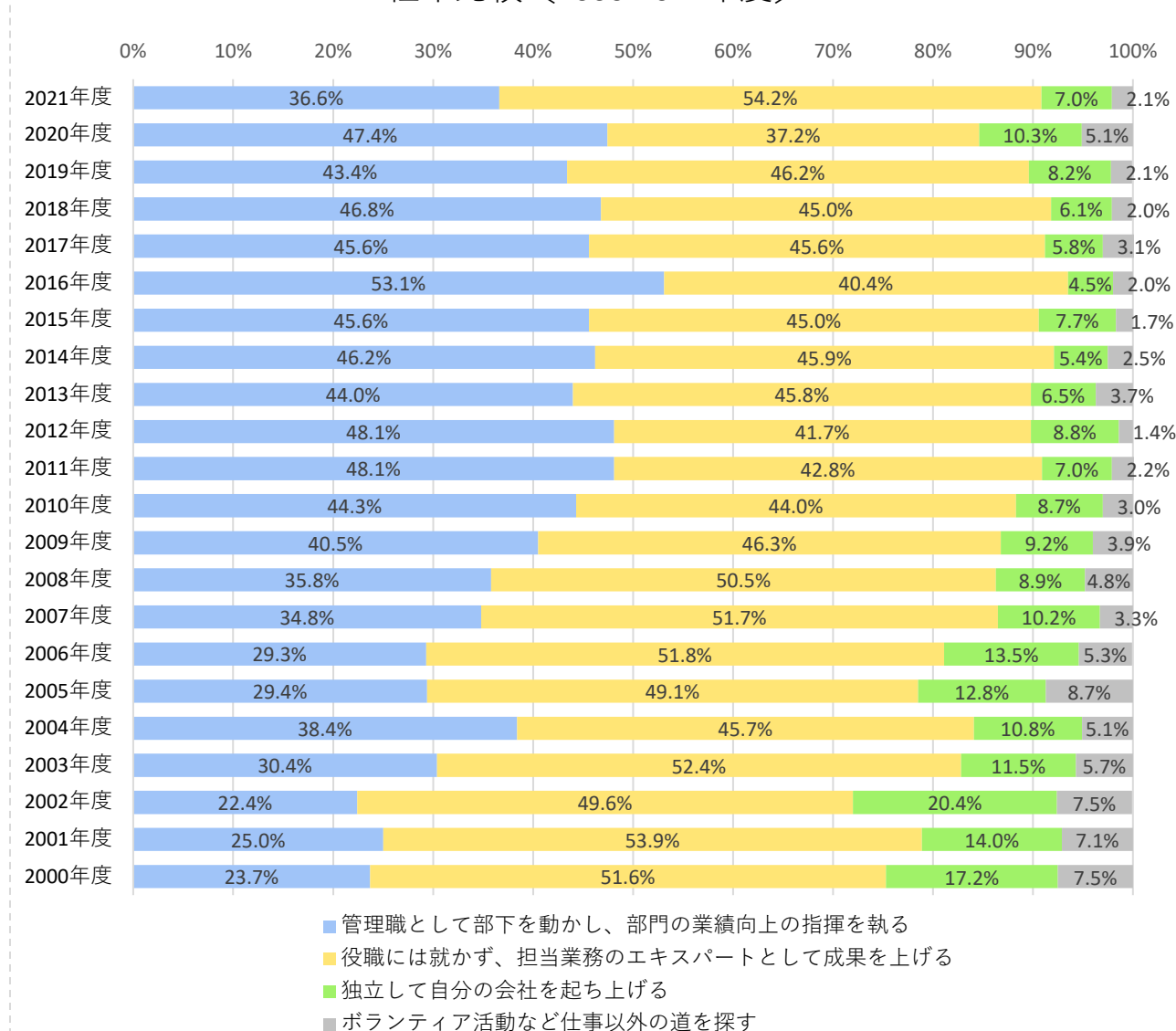


問14. 将来のキャリアについてどのように考えていますか？（1つ選択）

(n=142)

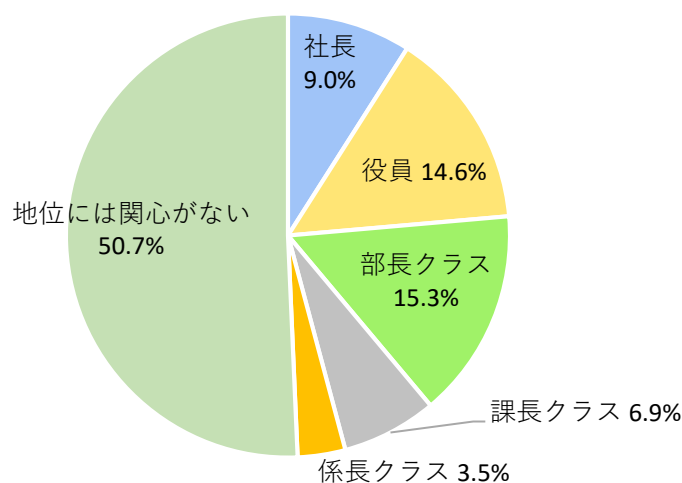


経年比較〔2000-2021年度〕

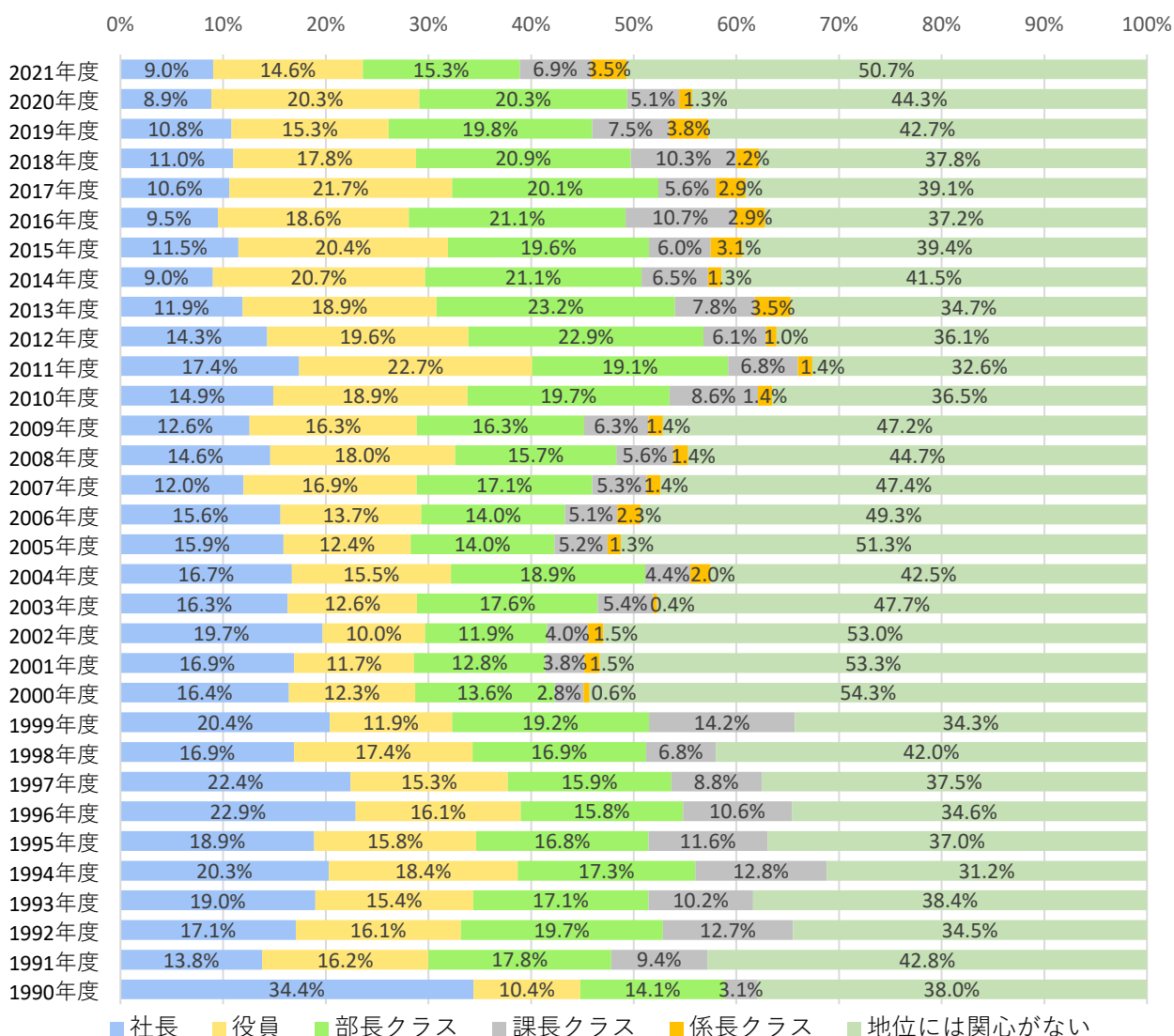


問15. あなたが最終的に目標とする役職・地位は？（１つ選択）

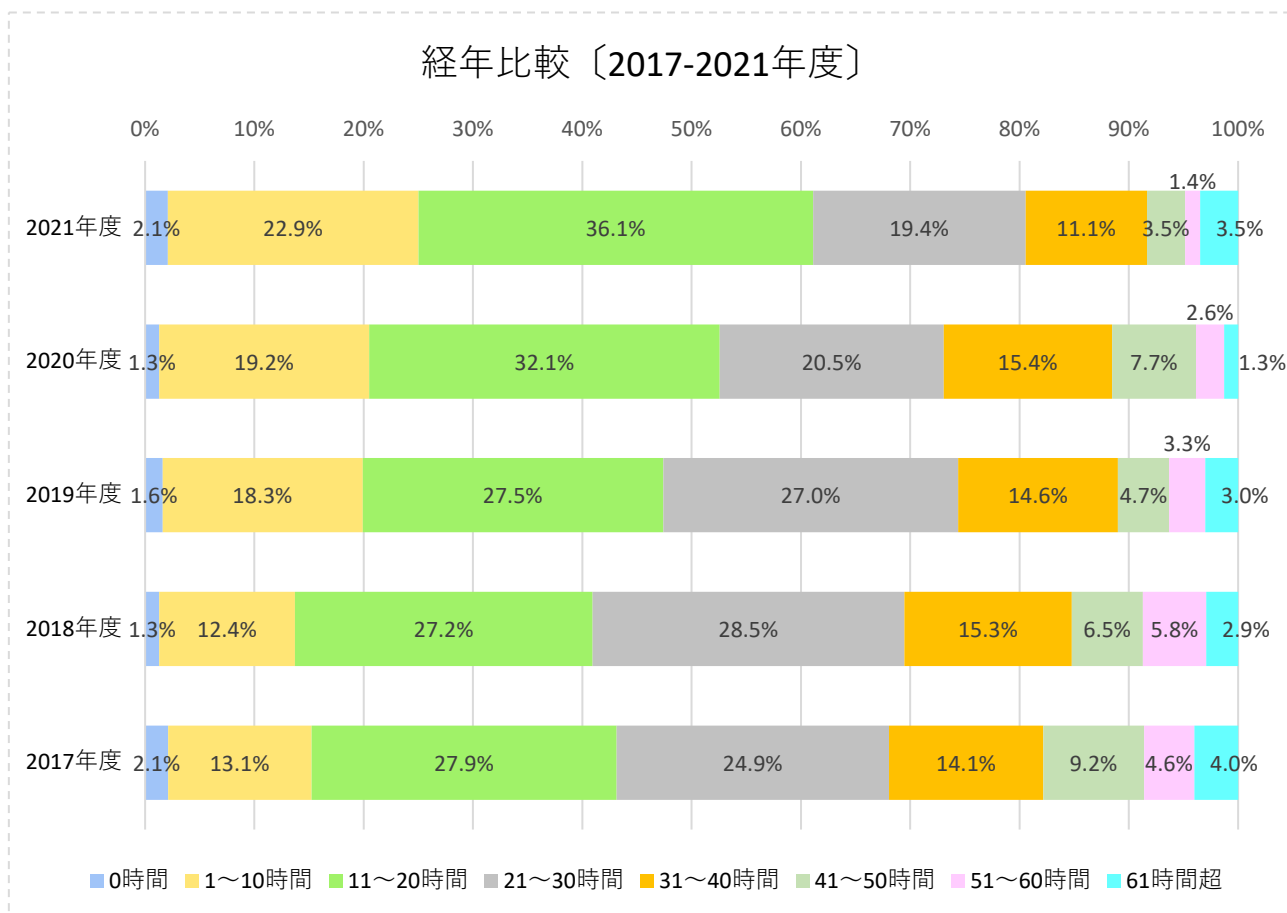
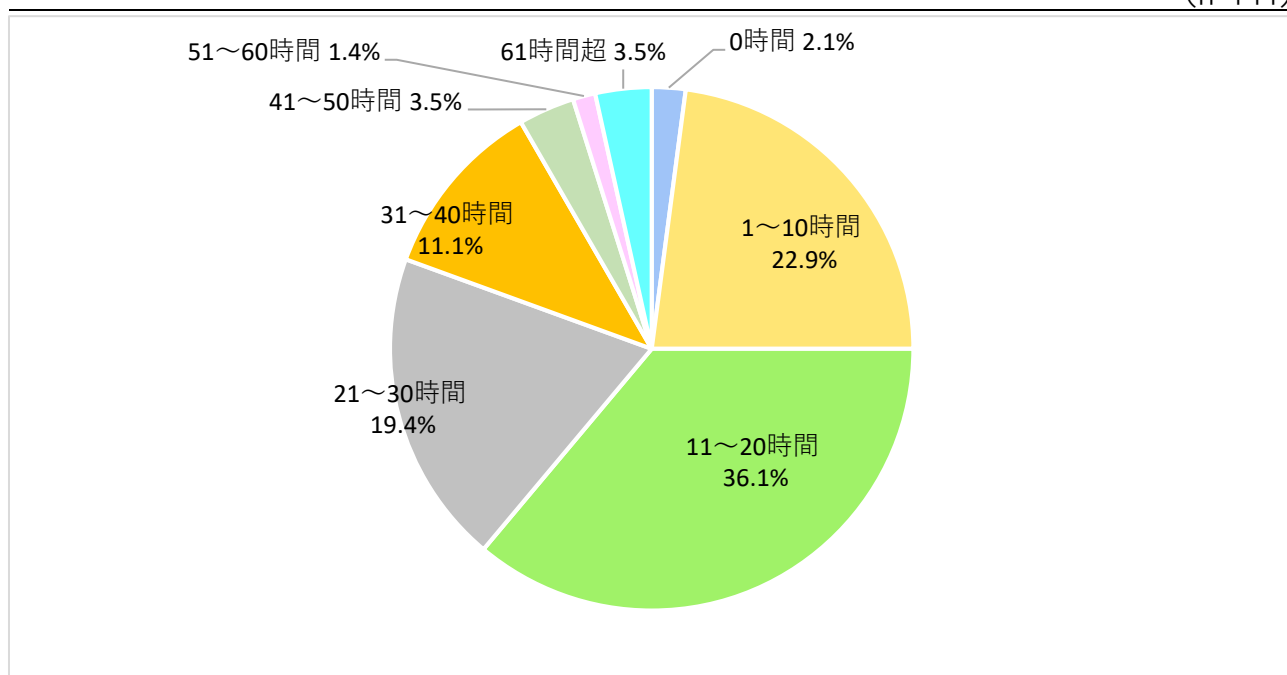
(n=144)



経年比較〔1990-2021年度〕 ※2000年度から選択肢に「係長クラス」を追加

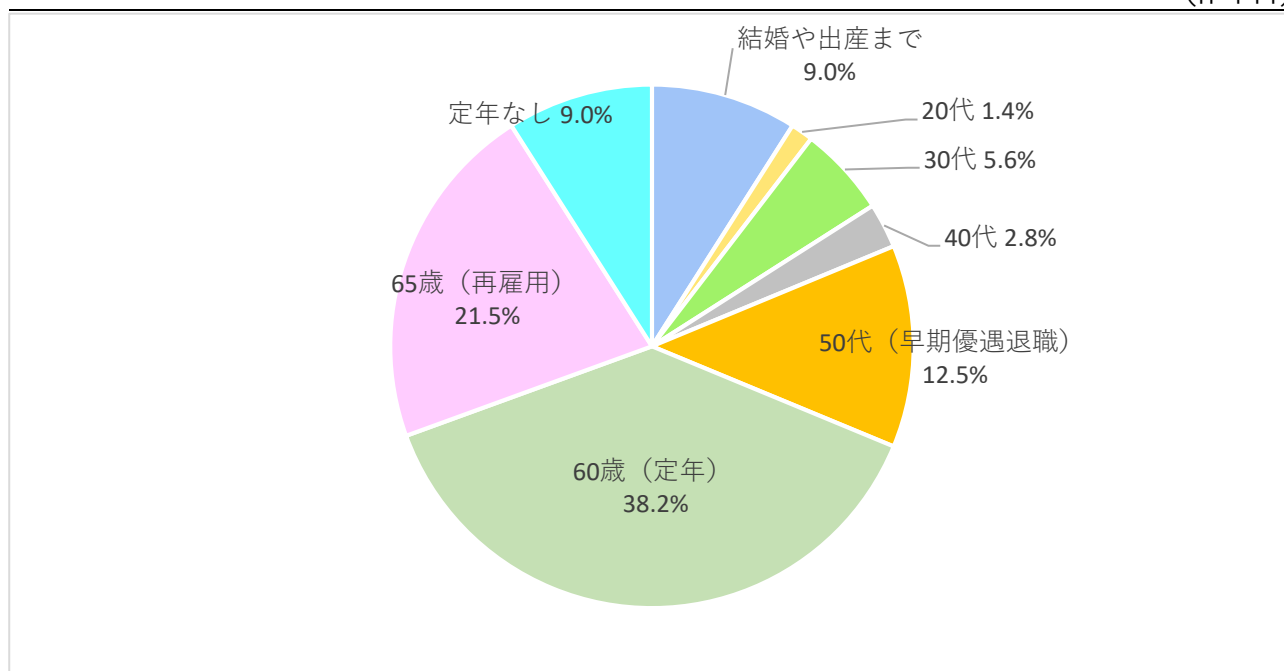


問16. 1 か月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？（1 つ選択）
 (n=144)

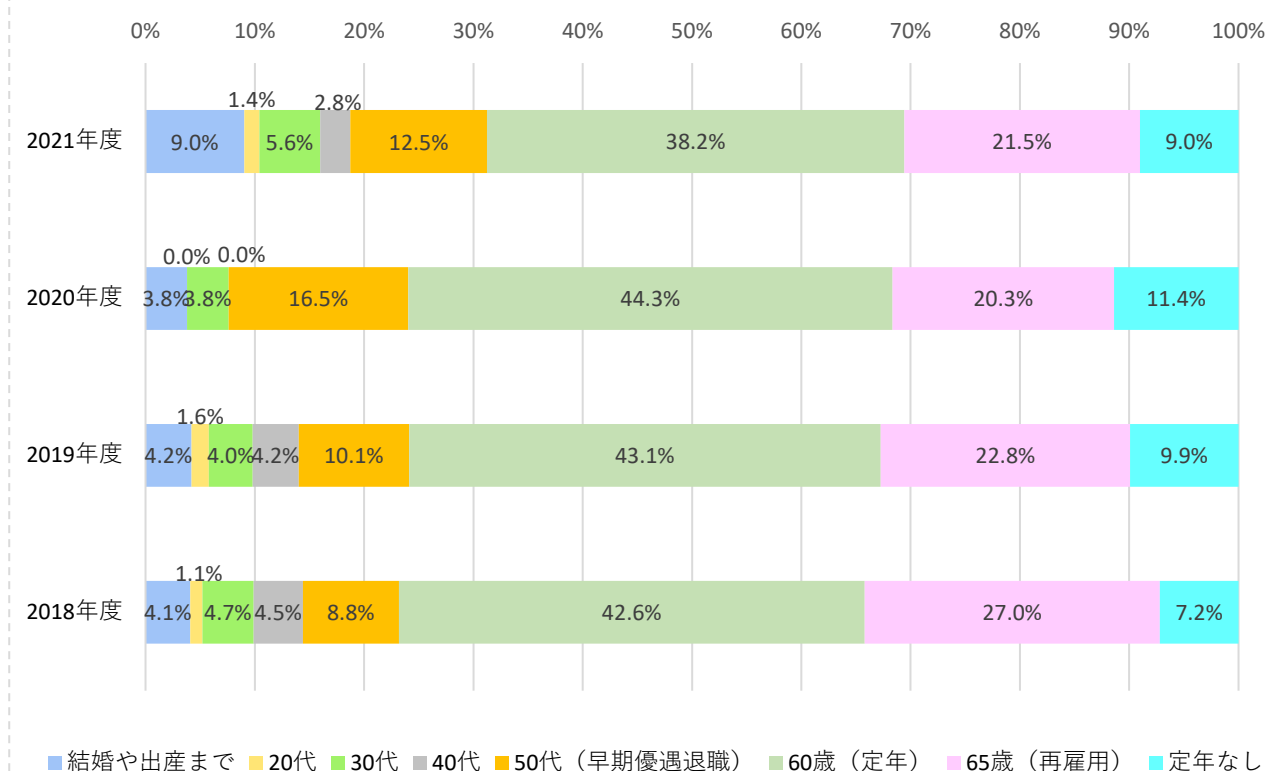


問17. “人生100年時代” と言われている中で、あなたはいつまで被雇用者（会社勤めなど）として働きたいと思いますか？（1つ選択）

(n=144)

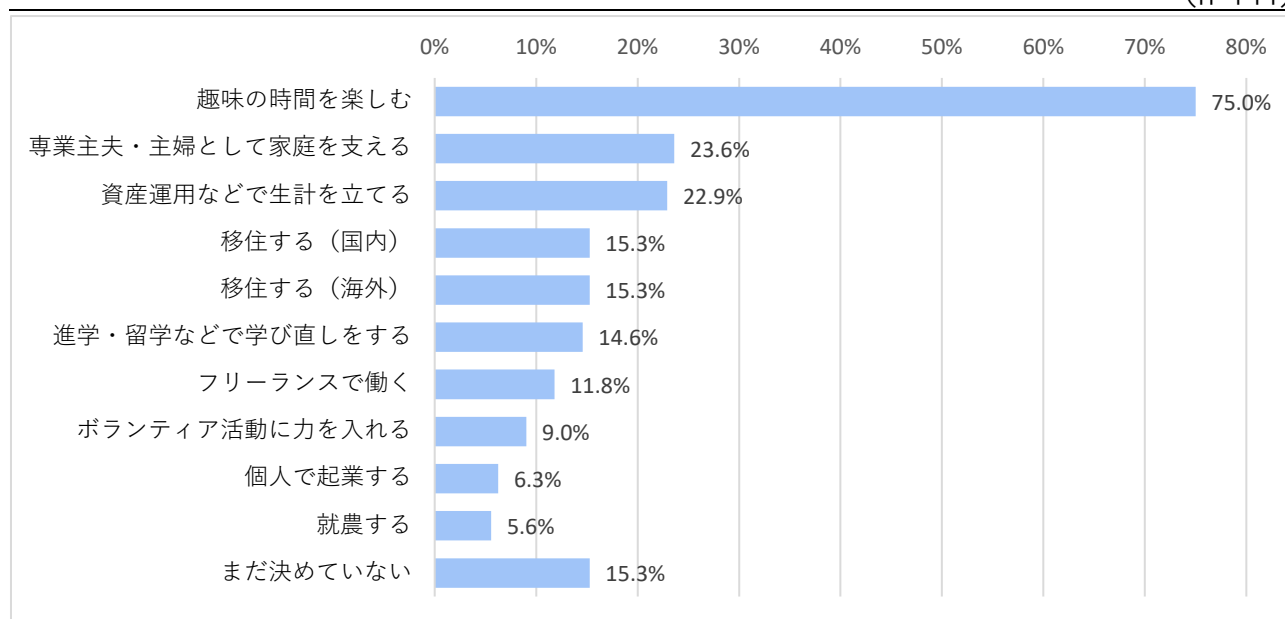


経年比較〔2018-2021年度〕

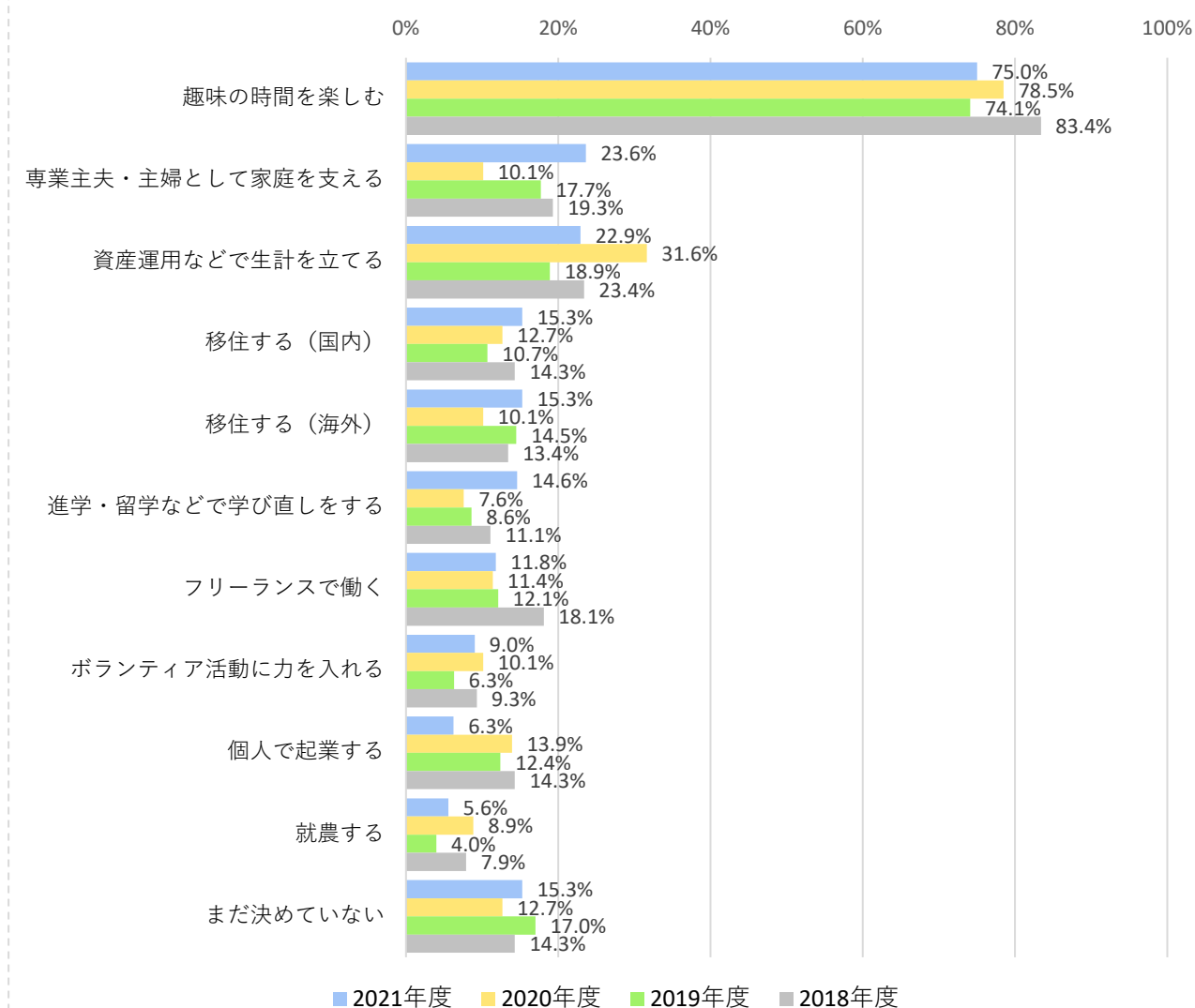


問18. 前問の年代で退職した後にやりたいことを選びください。（5つまで選択可）

(n=144)

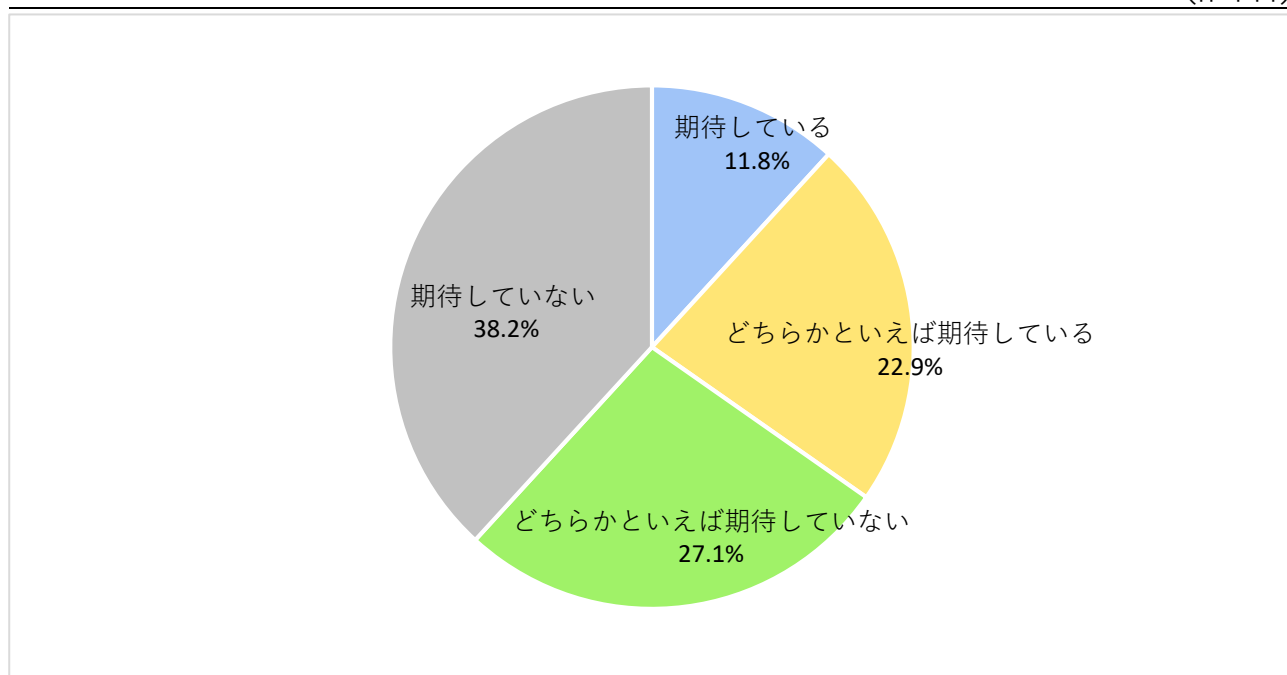


経年比較〔2018-2021年度〕

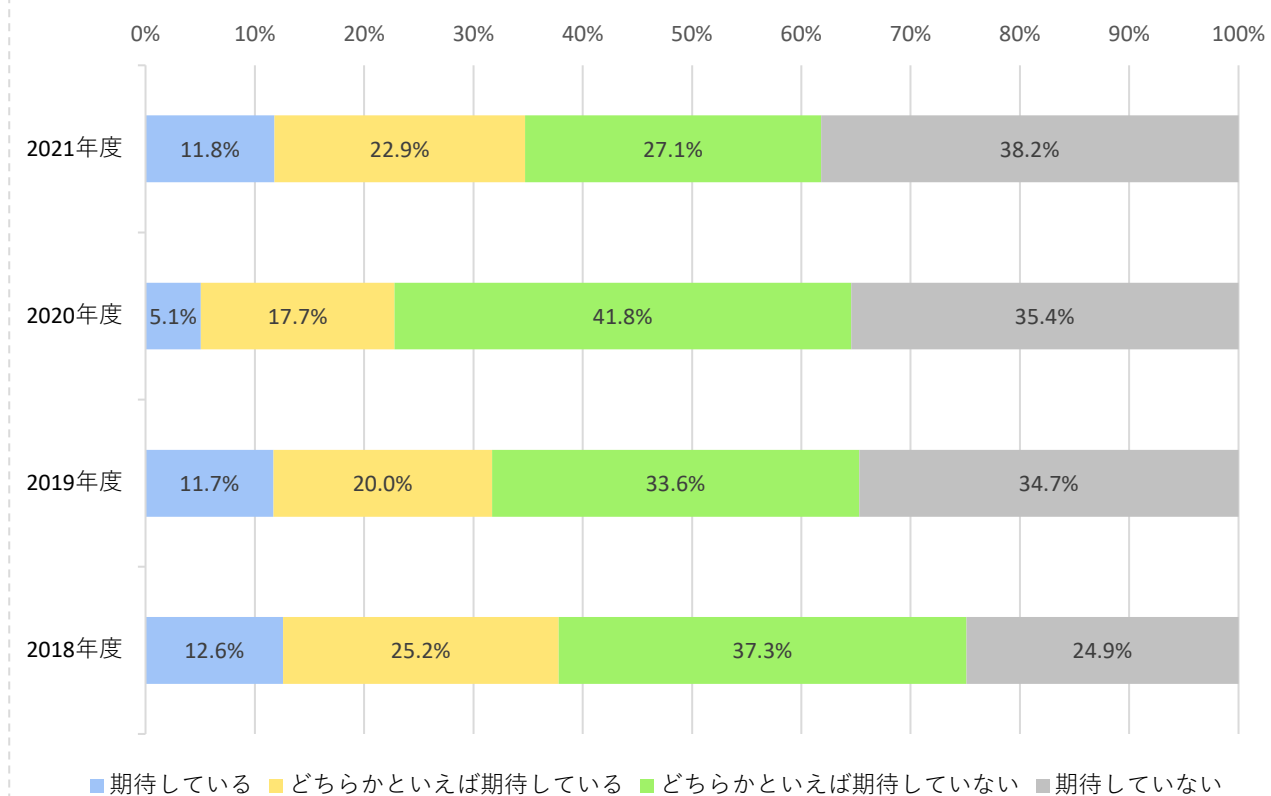


問19. 将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待していますか？（1つ選択）

(n=144)

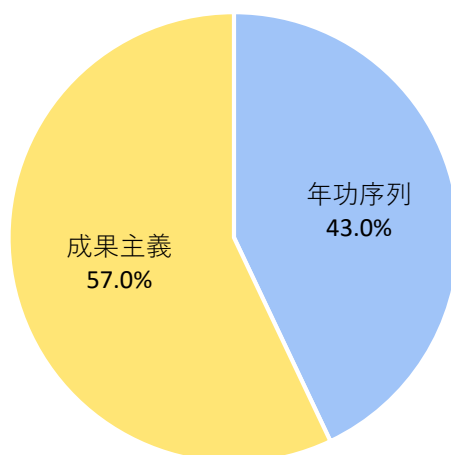


経年比較〔2018-2021年度〕

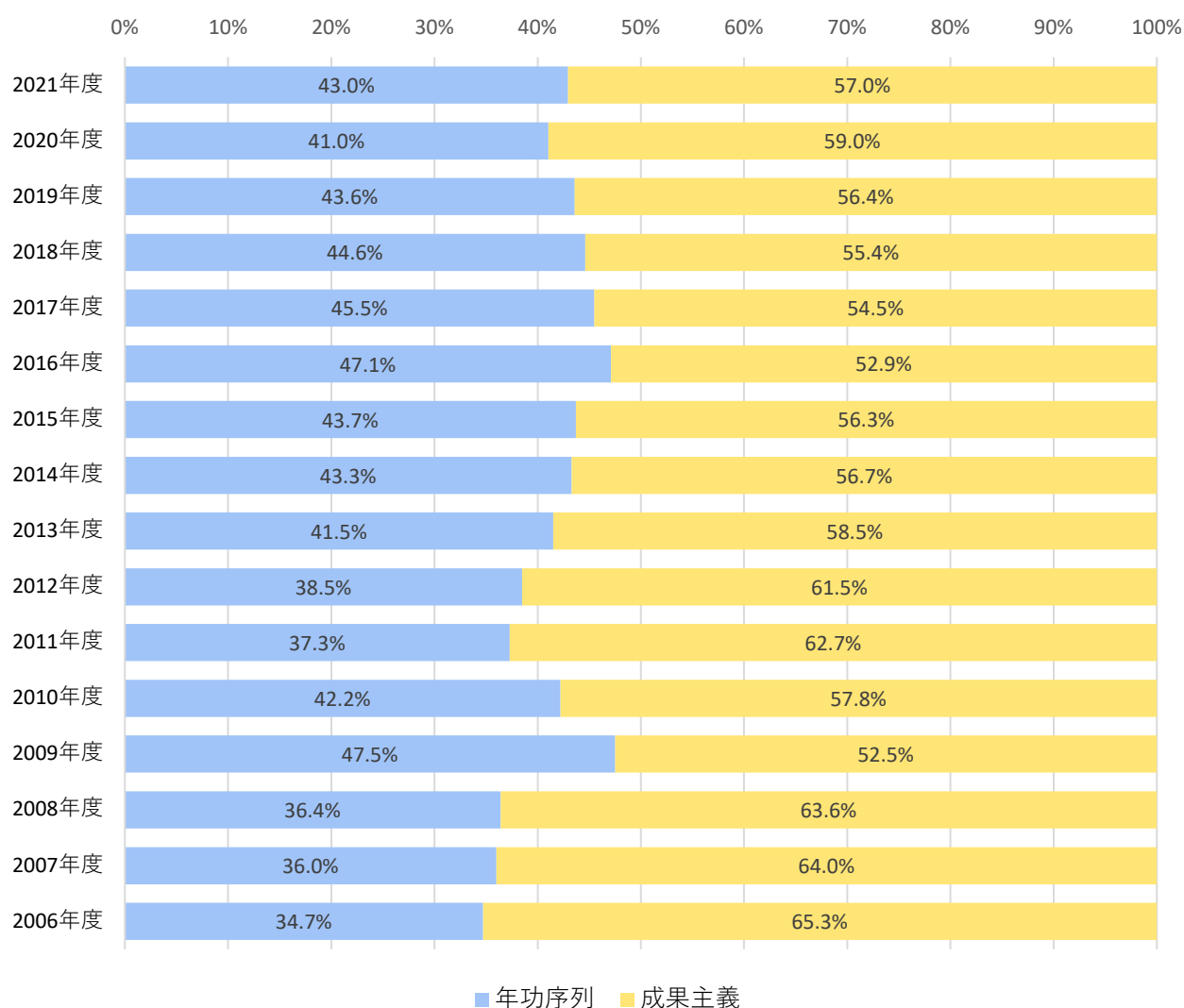


問20. 年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的に人事制度ではどちらを望みますか？（1つ選択）

(n=142)

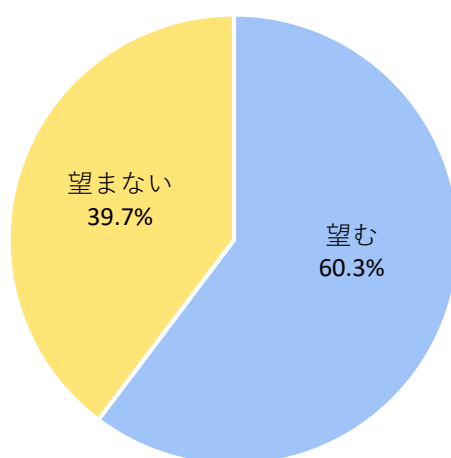


経年比較〔2006-2021年度〕

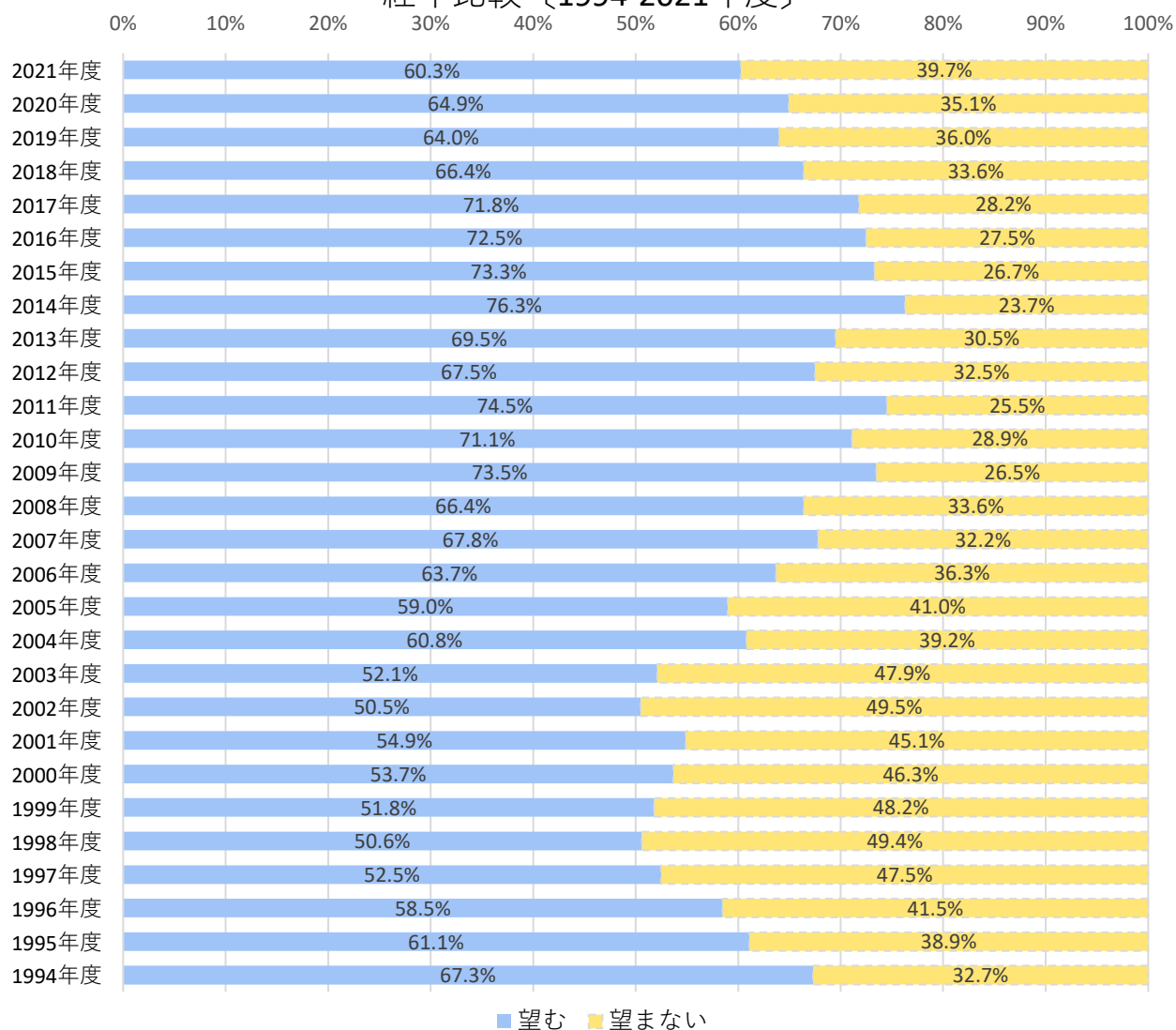


問21. “終身雇用制度”を望みますか？（1つ選択）

(n=141)

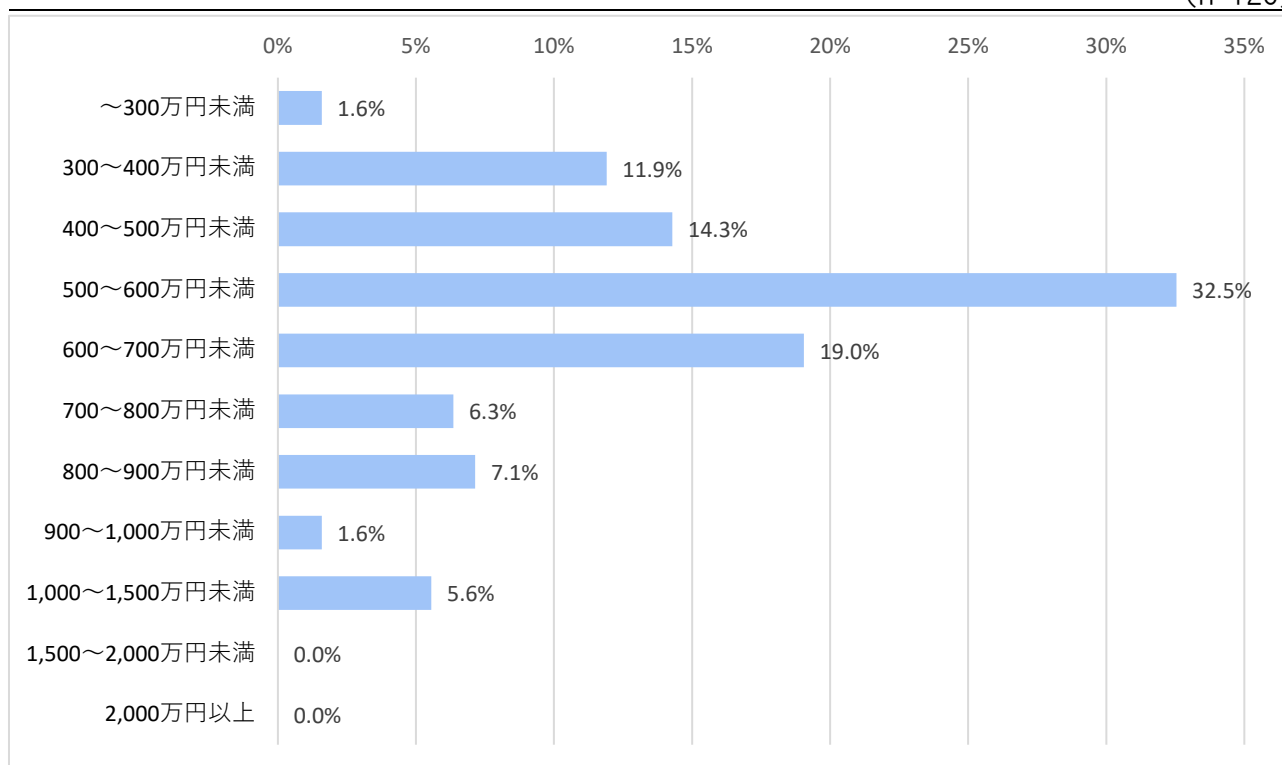


経年比較〔1994-2021年度〕



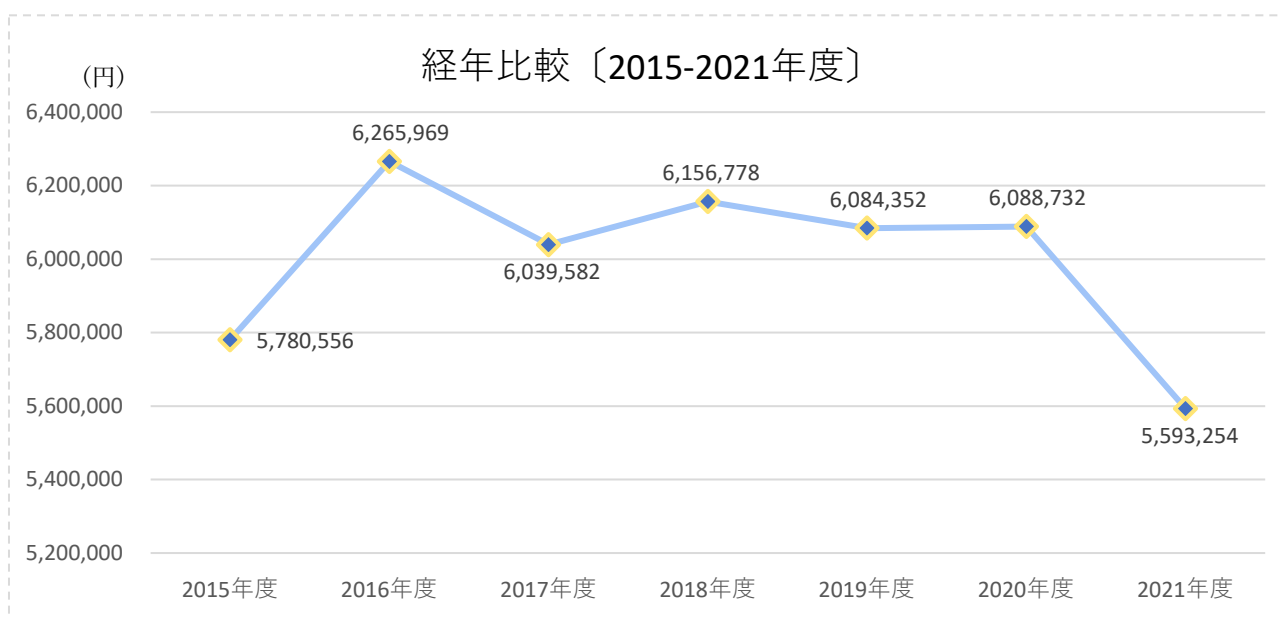
問22. 35歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？（自由記述）

(n=126)



加重平均値

全体 = 5,593,254円 / 対前年比：－495,478円



2021年度（第32回）
新入社員の会社生活調査

2021年7月

学校法人産業能率大学
〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
TEL：03-5758-5117
（総合研究所 マーケティングセンター）
